

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

**Floating DSC GPS
VHF FM Marine Transceiver**

HX890J

取扱説明書



この製品は、船舶共通通信システム 国際 VHF 無線機です。
ご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。
本機の DSC (Digital Selective Calling) 機能をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

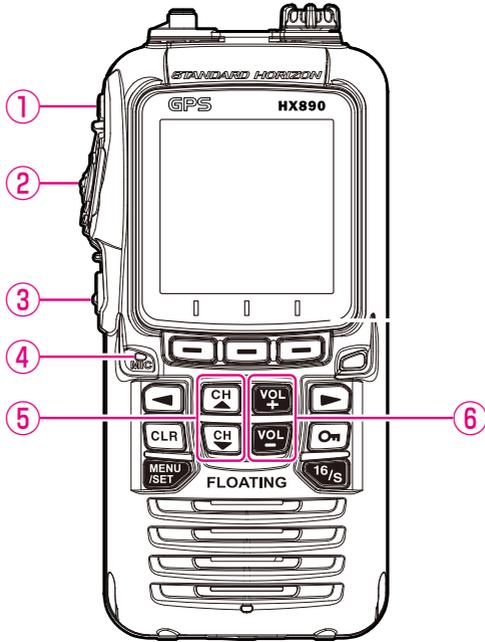
目次

基本操作ガイド	2	GPS機能	28
特長	3	位置情報表示	28
国際VHF無線局を開局される方へ	4	GPSコンパス画面	28
付属品	5	GPS情報画面	28
オプション	5	GPS受信状態を確認する	28
防水性能を保つための注意事項	6	GPSロガー(移動軌跡保存)機能	29
準備	7	DSC (Digital Selective Calling)機能 ...	30
アンテナを取り付ける	7	DSC機能の概要	30
ベルトクリップの取り付け/取り外し	7	遭難通報(DSC DISTRESS ALERT)	30
リチウムイオン電池パックを取り付ける	7	遭難通報の送信	30
バッテリーと充電について	8	遭難通報の受信	33
充電	8	全船コール	35
電池残量表示について	9	全船コールの送信	35
アルカリ乾電池ケースSBT-13の使い方	9	全船コールの受信	36
最初の電源投入時に必要な初期設定	10	個別コール	37
MMSI番号の登録について	10	個別アドレス帳の登録	37
MMSI(海上移動業務識別コード)とは	10	個別コール返答の設定	38
MMSI番号の登録	10	個別コールの確認応答内容の設定	39
GPS信号の確認(GPSステータス表示)	11	個別コールの送信	39
時刻オフセットの変更	11	個別コールの受信	41
タイムエリアの変更	12	個別コールのベル音を設定する	42
時刻表示形式の変更	13	グループコール	43
各部の名称と動き	14	グループコールを設定する	43
基本的な操作	17	グループコールを送信する	45
電源のON/OFF	17	グループコールの受信	46
受信する	17	グループコールのベル音をオフにする	47
送信する	17	位置情報要求	48
送信出力の切り替え	17	他の船舶に位置情報要求を送信する	48
チャンネルグループ(CHANNEL GROUP)	18	位置情報要求の受信	49
キーロック操作	19	位置情報の手動入力	50
NOAAウェザーチャンネル	19	位置情報要求への応答の設定	51
ウェザーアラート(WEATHER ALERT)	19	位置情報要求を受信したときの	
マルチワッチ(MULTI WATCH)機能	20	ベル音をオフに設定する	51
マルチワッチ機能の設定	20	位置情報送信	52
2波同時受信をスタートする	21	位置情報を送信する	52
スキャン(SCAN)機能	21	位置情報通知の受信	53
スキャンタイプの設定	22	受信した位置情報の地点へのナビゲーション	54
スキャンメモリの設定	22	受信した位置情報の地点を	
メモリスキャン	23	ウェイポイントとして保存する	54
プライオリティスキャン	23	位置情報通知を受信したときの	
プリセットチャンネル機能	24	ベル音をオフにする	55
プリセットチャンネルの設定	24	自動ポジションポーリング	55
プリセットチャンネルの呼び出し	24	自動ポジションポーリングの設定	55
プリセットチャンネルの設定解除	25	自動ポジションポーリング送信間隔の設定	55
FMラジオ放送を聴く	25	自動ポジションポーリングする船舶の指定	56
FMラジオ放送帯をスキャンする	25	自動ポジションポーリングの開始/停止	56
FMラジオ放送の周波数をメモリーする	25	DSCテストコール	57
メモリーを呼び出す	26	他の船舶へDSCテストコールを送信する	57
MOB (Man Overboard、落水者)機能	26	DSCテストコールの受信	58
MENU操作	27	DSCログ(送受信履歴)の操作	59
		ログに記録された送信した	
		呼び出し(コール)の確認と再送信	59
		ログに保存されている受信した遭難通報の確認	59
		ログに記録されている他の呼び出し(コール)の確認	60

目次

DSCログに保存されている 呼び出し(コール)の一括削除	60	サブチャンネル(SUB CHANNEL)	86
DSCループバック操作	61	チャンネルネーム(CHANNEL NAME)	86
ナビゲーション	62	ノイズキャンセル(NOISE CANCELLATION) ...	87
ウェイポイント操作	62	VOX機能(VOX OPERATION)	88
ナビゲーションの開始と停止	62	VOX機能のオン/オフ(VOX)	88
ウェイポイントの操作	63	VOX感度の設定(VOX LEVEL)	88
表示半径の設定	66	VOXデレイタイムの設定(VOX DELAY)	88
到着範囲の設定	67	受信音の音質調整(AF PITCH OPERATION) ...	89
ルート設定の操作	67	チャンネル機能設定一覧	89
ルートメモリーの操作	67	DSC機能設定(DSC SETUP)	90
ルートナビゲーションの開始と停止	70	個別アドレス帳(INDIVIDUAL DIRECTORY)	90
目的地点の変更	70	個別コール返答(INDIVIDUAL REPLY)	90
次の目的地点ヘナビゲーションを 自動または手動で開始する	71	個別コール返答内容(INDIVIDUAL ACKNOWLEDGMENT)	90
GM(グループモニター)機能	72	個別コールベル音(INDIVIDUAL RINGER)	90
GM機能の設定	72	グループメモリー(GROUP DIRECTORY)	90
GMグループメモリーの設定	72	位置情報要求への応答(POSITION REPLY)	91
位置情報送信の時間間隔を設定	73	自動ポジションポーリング (AUTO POS POLLING)	91
GM動作中の送信動作の設定	74	自動位置情報要求間隔 (AUTO POS INTERVAL)	91
GM機能の開始	74	自動チャンネル変更 (CHANNEL SWITCH TIMER)	91
グループメンバーへ個別コールを送信する	74	無操作タイムアウト時間 (NO ACT(ACTION)TIMER)	92
グループメンバーへのナビゲーションを開始する	75	WAIT TIME FOR POSITION FIX	92
設定メニュー	76	DSCビーブ音(DSC BEEP)	92
(CONFIGURATION SETUP)	76	DSC設定メニュー一覧	93
画面モード(DISPLAY MODE)	76	GPS設定(GPS SETUP)	94
バックライト輝度調節 (DIMMER ADJUSTMENT)	76	GPS機能のオン/オフ(GPS ON/OFF)	94
バックライト点灯時間設定(LAMP)	76	GPSバッテリーセーブ機能(POWER SAVE)	94
画面のコントラスト調整 (DISPLAY CONTRAST)	77	コンパス表示方向(DIRECTION)	95
キー操作音量(KEY BEEP)	77	位置座標(緯度・経度)の形式 (LOCATION FORMAT)	95
バッテリーセーブ機能(BATTERY SAVER)	78	時刻のオフセット(TIME OFFSET)	95
ストロボLEDランプ(STROBE LED)	78	表示時刻(TIME AREA)	95
Emergency LED	78	時刻表示形式(TIME FORMAT)	96
Water Hazard LED	79	表示単位(UNITS OF MEASURE)	96
ソフトキー(SOFT KEYS)	79	ピンニング(PINNING)	96
キー割り当て(Key Assignment)	79	SBAS (Satellite Based Augmentation System)	97
ソフトキーの表示時間(Key Timer)	80	出力センテンス(OUTPUT SENTENCES)	97
リセット操作(RESET)	80	ロガー記録時間間隔(LOGGER INTERVAL)	98
MMSI番号をリセットする	81	ログ消去(LOG ERASE)	98
設定メニュー一覧	83	GPS設定の一覧	99
チャンネル設定(CHANNEL FUNCTION SETUP) ...	84	国際VHFチャンネル表	100
チャンネルグループ(CHANNEL GROUP)	84	パソコンとの接続	101
ウェザーアラート(WEATHER ALERT)	84	定格	102
スキャンメモリー(SCAN MEMORY)	84		
スキャンタイプ(SCAN TYPE)	84		
スキャン再開時間(SCAN RESUME)	85		
マルチワッチ(MULTI WATCH)	85		
プライオリティチャンネル (PRIORITY CHANNEL)	85		

基本操作ガイド



1. 側面の [電源] ボタン①を長く押し、電源をオンにします。
2. [VOL -] キー/[VOL +] キー⑥を押して、聞きやすい音量に調節します。
3. 側面の [SQL] キー②を押してから、[CH ▲]/[CH ▼] キー⑤を押して、「ザー」という雑音が消えるように調節します。
4. [CH ▲]/[CH ▼] キー⑤を押して、希望するチャンネルを選びます。
5. 側面の PTT スイッチ（送信スイッチ）②を押しながら、マイク④に向かって話します。
相手の話を聞くときは、PTT スイッチ②を放します。
電源を切るには、[電源] ボタン①を長く押します。

特長

- **国際 VHF 規格 総務省技術適合証明取得機種**
- **国際 VHF で使われる全てのチャンネルをカバー**：緊急連絡用チャンネルの“チャンネル 16”、“チャンネル 9”を含む、国際 VHF に割り当てられている全てのチャンネルを使用することができます。
- **GPS 内蔵・DSC 機能対応**：GPS による位置情報、DSC 機能による緊急通報、個別コール、グループコールなどの便利な機能を使うことができます。
- **送信出力 5W**：長時間の連続送信においても安定した送信出力を確保します。送信出力は簡単にハイパワー“5W”からローパワー（“2W”、または“1W”）に変えることができます。相手が近くにいる時はローパワーにしてバッテリーの運用時間を延ばすことができます。
- **防水フローティングトランシーバー**：水上に落としても安心な IPX8 防水型フローティングハンディトランシーバーです（IPX8：真水 / 静水に水深 1.5m で 30 分間没しても機器の動作に影響を及ぼさない事）。
- **LED 照明付フルドットディスプレイ**：LED 照明付きのフルドットマトリックス液晶ディスプレイを採用しました。夜間でもすぐに動作状態を確認することができます。
- **E20 対応**：イージー・ツー・オペレート (Easy 2 Operate) に対応していますので、非常に操作が簡単です。
- **プリセットメモリー**：簡単な操作で連絡用チャンネルのメモリー / 呼び出しができる、プリセット型の 10 チャンネルのメモリーチャンネルを採用しました。
- **緊急連絡用チャンネルキー**：緊急時、瞬時に緊急連絡用チャンネルの“チャンネル 16”または“サブチャンネル”（工場出荷時設定：チャンネル 9）にアクセスすることができる専用の [16/S] キーを配置しました。
- **大音量 700mW スピーカー採用**：大音量のスピーカーを採用していますので、航行中の船上でも十分な聞き取りやすい大音量で聞くことができます。
- **2波 / 3 波受信機能**：2つまたは 3 つのチャンネルを自動で監視して受信することができます。連絡用チャンネルと非常用の緊急チャンネルの信号をチェックして、緊急チャンネルを優先して受信することができます。
- **大容量リチウムイオンバッテリー**：1800mAh の大容量リチウムイオン電池パックを採用、優れた高周波回路設計技術による低い消費電力で長時間の運用を可能にしていますので、長距離のクルージングにも安心して使用できます。
- **高輝度ストロボライト**：高輝度白色 LED によるストロボライトをフロントパネルに配置しました。HX890J を水に落とした場合に自動的に点灯しますので、周囲が暗い状況でも無線機の位置を容易に確認することができます。また、夜間にペンライトの代わりとして使用することができます。

国際 VHF 無線局を開局される方へ

当社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本機をお使いになる前に、下記の注意事項をお読みください。

■ 無線技士の資格が必要です

この製品をご使用になるには、第三級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。また、DSC 機能をご使用になるには、第二級海上特殊無線技士以上の資格が必要です。

■ 無線局を開局するためには電波法に基づいた手続きが必要です

無線局の開局に必要な申請書（無線機に同梱されています）に必要な事項を記入のうえ、**国の収入印紙**（県の収入証紙は認められません。誤って購入した場合、県の収入証紙を返還して現金の還付を受けることはできませんので十分にご注意ください）を貼付して、主たる停泊港を管轄している総務省地方総合通信局（沖縄の場合は沖縄総合通信事務所）へ提出してください。審査に合格すると免許状および申請書の写しが返送されてきますので、免許状が届いてから運用を開始してください。無線局の免許を受けずに無線局を運用した場合は、懲役1年以内、罰金100万円以下に処せられる場合があります。

■ 運用マナーを守って運用してください

国際 VHF はアマチュア無線や携帯電話と違い、遭難通信などの重要な通信を行うものです。また、我が国では、旅客船の定期運行通信、貨物運行などの業務通信、港の施設との航行安全の情報交換等、とても大切な通信も含まれます。運用ルールを守り、私用での通信は絶対に止めましょう。

私用通信により遭難等の通信を妨害した場合、懲役1年以上の有期懲役に処せられる場合があります。

付属品

- **CAT460** ラバーアンテナ
- **SBR-13LI** リチウムイオン電池パック (7.4V 1800mAh)
- **SAD-25B** SBH-25 用 AC アダプター
- **SBH-32** 充電用クレードル
- **E-DC-19A** シガーライタープラグ付き外部電源アダプター
- **SBT-13** アルカリ乾電池ケース (単4アルカリ乾電池 5 本用)
- **CLIP-22** ベルトクリップ
- **ハンドストラップ**
- **USB ケーブル**
- **取扱説明書** (本書)
- **無線局免許申請書** (一式)
- **保証書**

オプション

- **SAD-25B** AC アダプター
- **SSM-14A** 防水スピーカーマイクロホン (イヤホンジャック付き)
- **SEP-10A** SSM-14A 用イヤホン
- **MH-73A4B** 防水スピーカーマイクロホン
- **SSM-55A** イヤーピース マイクロホン
- **SCH-11** ベルトクリップハンガー

防水 IPX8 相当について

本機の防水性能は、付属のアンテナを取り付け、マイク / スピーカー接続端子の防水キャップをしっかりと取り付けた状態で、水深 1.5m の水没に 30 分間耐えることができます。

この防水性能を末永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

- ◎ **キズ、劣化、汚れなどの確認**
各ボタンのラバー、マイク / スピーカー接続端子の防水キャップ。
- ◎ **お手入れのしかた**
海水・砂・泥などがついたときは、やや弱めの水流の真水で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- ◎ **オーバーホールのお奨め**
お買い上げから 1 年経過した後、オーバーホールを行って 1 年経過した後、あるいは、各ボタンのラバーやマイク / スピーカー接続端子の防水キャップにキズや劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めします。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。
- ◎ **その他の注意**
水中では使用できません。

防水性能を保つための注意事項

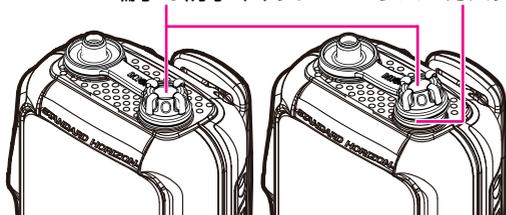
注意

HX890J の防水性能を保つために、以下の注意事項を必ず守ってください。

全ての注意事項を守らないと HX890J の防水性能が損なわれ、トランシーバーの内部に水が浸入して故障することや、HX890J のフローティング性能が失われ、水に落とした場合に沈む可能性があります。

水の浸入を防ぐために、MIC/SP 端子の防水キャップ、データ端子カバー、およびバッテリーカバーが正しく密封されていることを確認してください。

MIC/SP端子の防水キャップ ラバーガasket

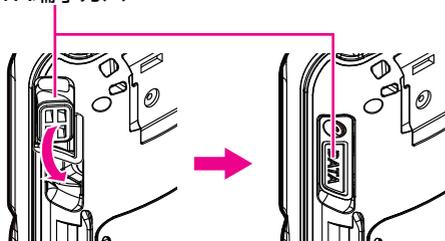


正しい取り付け状態

不十分な取り付け状態

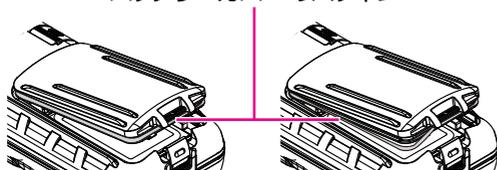
- MIC/SP端子の防水キャップを指でまわして、しっかりと固定して防水します。
- ジャックとラバーガasketにほこりや汚れ、亀裂がないことを確認してください。
- キャップをねじ込む前に、ほこりや汚れを取り除いてください。

DATA端子カバー



- DATAジャックのカバーを完全に閉めてください。
- DATAジャックカバーに埃、汚れ、亀裂がないことを確認してください。
- カバーを閉じる前にほこりや汚れを取り除いてください。

バッテリーカバーのパッキン



正しい取り付け状態

不十分な取り付け状態

- 隙間がないように注意しながら、パッキンが溝にはまるようにバッテリーカバーを取り付けます。
- パッキンの溝およびパッキンにほこりや汚れ、亀裂がないことを確認してください。 バッテリーカバーを取り付ける前に、ほこりや汚れを取り除いてください。

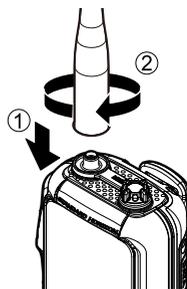
注意

防水キャップやバッテリーカバーまたはラバーガasket、パッキンにひびが入っている場合は、お買い上げの販売店に連絡して部品を購入して交換してください。

アンテナを取り付ける

CAT460 アンテナの下側を持って、時計回りにまわして、トランシーバーのアンテナコネクタにしっかりと固定します。

必要以上に強く締めすぎないでください。

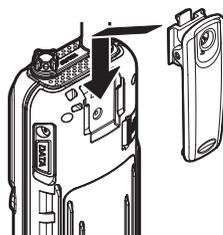


ベルトクリップの取り付け / 取り外し

1. 付属のベルトクリップを無線機背面の溝に差し込み、“カチッ”と音がするまで確実にスライドさせます。

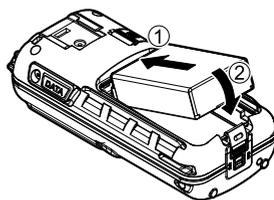
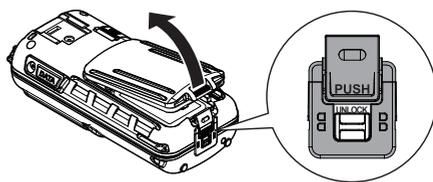
● ベルトクリップの取り付け / 取り外し

1. ベルトクリップのタブを後方に押してロックを解除しながら、ベルトクリップを上にもスライドさせて取り外します。



リチウムイオン電池パックを取り付ける

1. HX890J の底面のロックプレートを“UNLOCK”の位置にスライドさせ、“PUSH”を押してバッテリーカバーを開きます。
2. 図を参考にしてリチウムイオン電池パック **SBR-13LI** を挿入します。
3. バッテリーカバーを取り付けて、ロックプレートを確実に“LOCK”の位置にスライドさせます。



● リチウムイオン電池パックを取り外す

1. 側面の [電源] ボタンを長く押して、電源をオフにします。
2. 上記の手順 1 に従ってバッテリーカバーを開きます。
3. リチウムイオン電池パック **SBR-13LI** を取り出します。

注意

防水性を確保し、バッテリーが緩まないようにする為に、ロックプレートを実際に“**LOCK**”の位置にスライドする必要があります。

バッテリーと充電について

お買い上げ後に無線機を初めて使用するとき、またはリチウムイオン電池パック **SBR-13LI** の残量がなくなった場合は、付属の充電用クレードル **SBH-32** と AC アダプタ **SAD-25B** を使用して充電します。

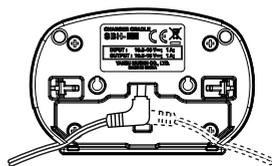
充電

付属の充電用クレードル **SBH-32** に AC アダプタ **SAD-25B** を接続して、空になった **SBR-13LI** を完全に充電するには、約 3 時間* がかかります。

※：電池の状態によっては、充電時間が長くなることがあります。

1. 側面の [電源] ボタンを長く押して、電源をオフにします。
2. 図を参考に接続します。
3. **HX890J** が正しく挿入されると、**HX890J** の LCD ディスプレイにバッテリーの充電アイコンが表示されます。
4. 充電が完了すると、バッテリー充電アイコンが消えます。

参考: 充電用クレードル **SBH-32** に付属のシガーライタープラグ付き DC ケーブル **E-DC-19A** を接続して、内蔵バッテリーを約 3 時間で充電できます。**E-DC-19A** は DC12V のシガーライターソケット専用です。



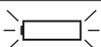
SBH-32(底面)



注意

- **SAD-25B** および **SBH-32**、**E-DC-19A** は防水構造ではありません。乾いた乾燥した場所で充電してください。
- リチウムイオン電池パックは消耗品です。充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。また、正しい使い方で約 300 回充放電することができます。

電池残量表示について

	: 満充電です。
	: 十分に使えます。
	: 残りわずかです。
	: バッテリーが空になりました。充電してください。
	: すぐに充電してください。(点滅表示)

リチウムイオン電池 SBR-13LI について

容量	1800mAh	
定格電圧	7.4V	
温度範囲	最低	最高
充電温度範囲	5°C	35°C
使用温度範囲	-20°C	60°C
保管温度範囲	-10°C	35°C

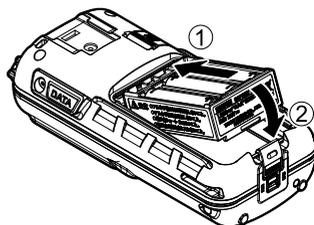
注意

リチウムイオン電池パックを取り付けた状態でトランシーバーを長期間使用しないと、リチウムイオン電池パックの劣化が早まる可能性があります。トランシーバーを長期間使用しない場合は、リチウムイオン電池パックを取り外した状態で保管してください。トランシーバーとリチウムイオン電池パックを長期間保管する場合は、過放電を防ぐために6か月ごとにリチウムイオン電池パックを取り付けて充電してください。

アルカリ乾電池ケース SBT-13 の使い方

SBT-13 は単四形アルカリ電池 5 本を使用して HX890J を動作させることができます。SBT-13 は緊急時の送受信に使用できますが、電池の寿命は非常に短くなりますのでご注意ください。HX890J は SBT-13 を使用しているとき水に浮きます。

1. 単四形アルカリ電池 5 本を極性に注意して SBT-13 に入れます。
2. 図を参考に HX890J に SBT-13 を取り付けます。
3. バッテリーカバーを取り付けて、ロックプレートを確認に“LOCK”の位置にスライドさせます。



最初の電源投入時に必要な初期設定

MMSI 番号の登録について

HX890J は DSC 機能を搭載しています。DSC 機能を使用するために、免許状に記載された MMSI 番号を無線機に登録してください。

MMSI 番号を登録しないと本機の DSC 機能を使用することができません。

MMSI (海上移動業務識別コード) とは

MMSI (Maritime Mobile Service Identity) は、DSC(Digital Selective Calling、デジタル選択呼出)の信号伝送ができる船舶局または海岸局に認識番号として交付される 9 桁の数字です。この番号は電話番号のように他の船舶を選択的に呼び出すために使用されます。

MMSI 番号の登録

⚠ 注意 ⚠

MMSI 番号は 1 度だけ登録することができます。登録を完了した MMSI 番号をリセット (消去) や再登録するには、リセットパスワードが必要となりますので、番号を間違えて入力しないよう十分にご注意ください。MMSI 番号のリセットについて詳しくは、“**MMSI 番号をリセットする**” (81 ページ) を参照してください。

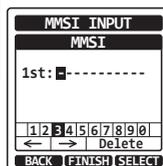
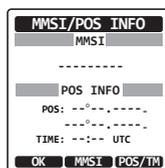
お買い上げ後、まだ本機に MMSI 番号が登録されていない場合は、電源をオンにする度に、MMSI 番号の入力をうながす“警告”画面が表示されビープ音が鳴ります。

ビープ音を止めて通常画面に戻るには、[OK] ソフトキーを押します。

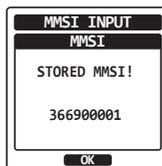
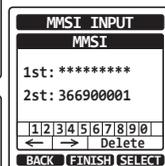
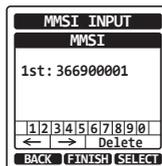
本機の DSC 機能を使用するために、MMSI 番号を入力してください。一度、MMSI 番号を登録すると、それ以後は警告画面は表示されなくなります。



1. [MMSI] ソフトキーを押します。
すでに MMSI 番号の登録が完了している場合は、この画面で MMSI 番号 (ID) の確認ができます。
2. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して、MMSI 番号の 1 桁目を選択してから、[SELECT] ソフトキーを押してカーソルを次の桁に移動します。



- 手順2を繰り返して、9桁のMMSI番号を入力します。
- もし間違えて入力した場合は、[CH▼]/[CH▲]/[◀]/[▶]キーを押して間違えた数字を選択してから、手順2と同様に入力します。
- MMSI番号の入力が終了したら、[FINISH]ソフトキーを押します。確認のためにMMSI番号を再度入力するよう求められますので、上記の手順2から4に従ってもう一度入力します。
- 2度目の入力が終了したら、[FINISH]ソフトキーを押してMMSI番号を登録します。
- [OK]ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。
MMSI番号の登録は以上で完了です。



参考

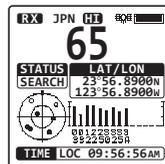
MMSI番号が正しく登録されたことを確認するには、手順1、2の操作を行います。画面に表示されたMMSI番号が正しいことを確認します。

GPS信号の確認 (GPSステータス表示)

本機はGPS信号を受信すると、画面にGPSアイコン“GPS”が表示され、現在の位置（緯度/経度）が画面に表示されます。



- [CH▼]/[CH▲]キーを押して“GPS STATUS”を選択します。
- [ENTER]ソフトキーを押すと、現在のGPS信号の受信状態が表示されます。



- [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

注意

HX890J の電源をオンにしたとき、GPS 衛星を測位するのに数分間かかることがあります。これは GPS 衛星から「衛星の軌道」情報をダウンロードしているためです。

また、GPS 信号の受信が制限されるキャビン内などで HX890J を使用する場合は、GPS ステータス表示を参照して、GPS 信号が良好に受信できる場所を探してください。

時刻オフセットの変更

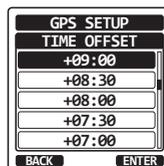
本機は、工場出荷時の状態では GPS 衛星時刻 (UTC (Universal Time Coordinated) 時刻) を表示します。現在地の時刻を示すには時刻オフセットの設定が必要です。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、現在地の時刻オフセットを選択します。“00:00” が選択されている場合、時刻は GPS 衛星時刻 (UTC 時刻) と同じです。

参考: “+09:00” に設定すると、日本標準時になります。

2. [ENTER] ソフトキーを押して、時刻オフセットを保存します。
3. [CLR] キーを押して通常画面に戻ります。

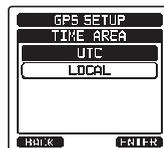


タイムエリアの変更

本機の時刻表示を “UTC” (工場出荷時設定)、または現在地の時間にオフセットして表示する “LOCAL” に設定できます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“UTC” または “LOCAL” を選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



時刻表示形式の変更

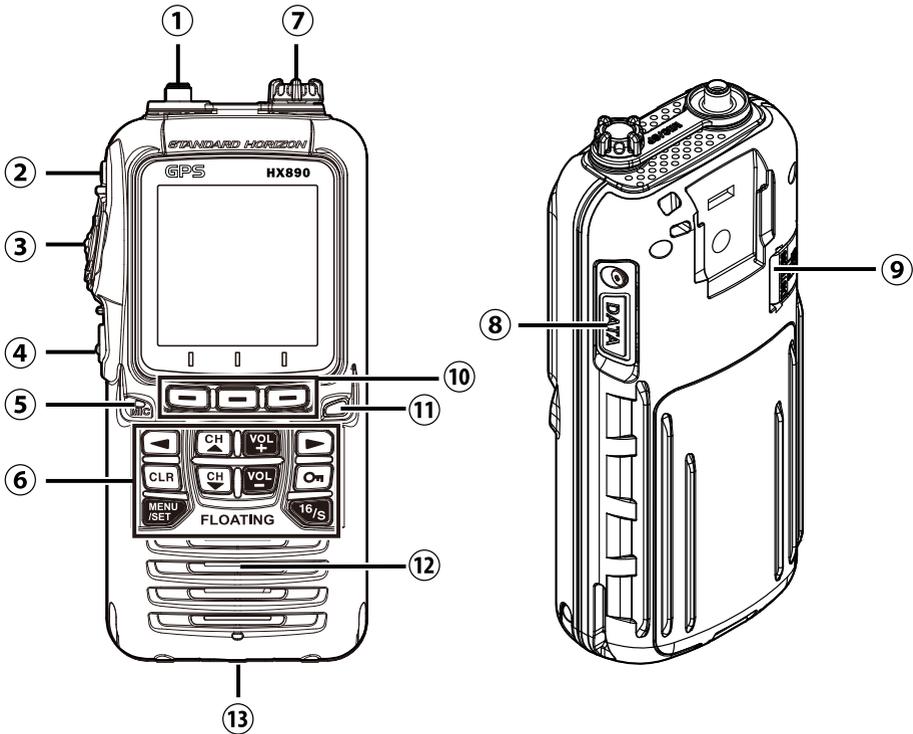
時刻表示を 12 時間表示または 24 時間表示に設定できます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “12hour” または “24hour” を選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



各部の名称と働き



注意

HX890J の防水性 (IPX8: 真水 / 静水に水深 1.5m で 30 分間没しても機器の動作に影響を及ぼさない事) を保つためには、MIC/SP 端子の防水キャップ、データ端子のカバー、およびバッテリーカバーのラバーガasketによって正しく密封されていることを確認してください。

① アンテナ端子 (VHF ANT)

付属のラバーアンテナ CAT460 を取り付けます。
アンテナの根元を持って、時計回りにまわして取り付けます。

② 電源キー (左側面)

長く押すと電源がオンまたはオフになります。

③ PTT (送信) スイッチ (左側面)

このスイッチを押しながらマイク⑤に向かって話します。
相手の声を聞くときはこのボタンを放します。

- ④ **SQL スイッチ**（左側面）
- このスイッチを押してから [CH ▼]/[CH ▲] を押して、スケルチレベルを調節します。
 - 長押しするとスケルチが開いて、弱い信号を聞くことができます。もう一度、押すと通常のスケルチ動作に戻ります。
- ⑤ **マイク**
マイクを口元から約2.5cm離して、普通の声の大きさと話してください。
- ⑥ **キーパッド**
- MENU/SET キー**
- MENU 画面を表示します。
 - 長く押すと、設定 (SETUP) メニュー画面を表示します。
- CH ▲キー /CH ▼キー**
- 通話チャンネルを選択します。
 - SQL ボタンを押した後に、このキーを押してスケルチレベルを調節します。
 - 押し続けるとチャンネルまたはスケルチレベルが連続で変化します。
- ◀ / ▶キー**
- ソフトキーを切り替えます。
 - メニュー画面でメニューを選択します。
- VOL+/VOL -キー**
受信音の音量を調節します。
- Onキー**
- 長く押すとフロントパネルのキー（PTT スイッチと SQL スイッチ、VOL キーはロックできません）をロックします。
 - もう一度、長く押すとロックを解除します。
- 16/S キー**
- 緊急連絡用チャンネル“CH16”を呼び出すことができます。
 - 長く押すとサブチャンネル（工場出荷時設定では CH9）を呼び出すことができます。
 - もう一度押すと元のチャンネルに戻ります。
- CLR キー**
メニュー画面や設定 (SETUP) メニュー操作時に、項目選択や設定をキャンセルして通常画面に戻ります。
- ⑦ **マイク /スピーカー端子**
オプションのスピーカーマイクなどを接続します。

⑧ **DATA** 端子（右側面）

付属の USB ケーブルでパソコンと接続して、トランシーバーの設定をすることや NMEA データの出力、GPS ロガーデータのダウンロードなどができます。

⑨ **DISTRESS** キー（背面）

DISTRESS（遭難通報）を送出します。

赤色のカバーを開いて、中の [DISTRESS] キーを約 3 秒間押し続けると、遭難通報が送出されます。詳しくは“**遭難通報 (DSC DISTRESS ALERT)**”（30 ページ）を参照してください。

⑩ **ソフトキー**

各種機能の選択や設定を行います。

設定メニューでソフトキーの機能を変更することができます。詳しくは“**ソフトキー (SOFT KEYS)**”（79 ページ）を参照してください。

⑪ **ストロボライト**

- [STROBE] ソフトキーを押すと、ストロボライトが白色に点灯します。セットモードで発光パターンを設定することができます。
- ウォーターハザード機能が有効な場合、トランシーバーが水没すると、このインジケーターが点灯します。

⑫ **スピーカー**

⑬ **バッテリーパックロック**（底面）

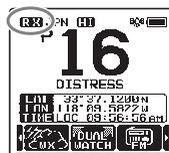
基本的な操作

電源の ON/OFF

1. 側面の [電源] キーを長く押しと電源がオンになります。
電源をオフにするには、もう一度 [電源] キーを長く押しします。

受信する

1. 側面の [SQL] スイッチを押してから、[CH ▼] キーを何度か押して “RX” インジケータが点灯して「ザー」というノイズが聞こえるようにします。
2. もう一度 [SQL] スイッチを押して、SQL バーグラフの表示を消してから、[VOL -] キーまたは [VOL+] キーを押して、聞きやすい音量に調節します。
3. もう一度 [SQL] スイッチを押して [CH ▲] キーを何度か押して “RX” インジケータが消灯して「ザー」というノイズが消えるギリギリのレベルに調節します。この状態をスケルチスレッシュホールドと言います。
4. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、運用チャンネルを選択します。チャンネルについては“国際VHFチャンネル表”（100 ページ）を参照してください。
5. 信号を受信すると “RX” アイコンが表示されます。



送信する

1. [PTT] スイッチを押しながら話します。
送信中は “TX” アイコンが表示されます。
2. [PTT] スイッチを放すと、受信状態に戻り、相手局の話を聞くことができます。



参考

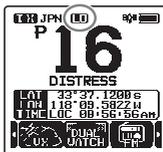
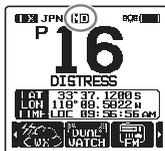
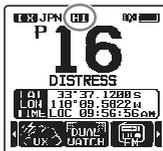
マイクと口元を約 2.5cm 離して、普通の声の大きさと話してください。

送信出力の切り替え

送信出力（電波の強さ）は、各チャンネルごとに “HI”（5W） / “MD”（2W） / “LO”（1W）の3段階で切り替えることができます。

送信出力は運用規則に則り、設定してください。

1. [◀]/[▶]キーを何度か押して“TX PWR”ソフトキーを表示させます。
2. “TX PWR”ソフトキーを押して、“HI” (5W)、“MD” (2W)、“LO” (1W) から送信出力を選択します。
 - ・送信禁止チャンネル(CH70)とLO(1W)専用チャンネル(CH15およびCH17、CH75、CH76)では操作できません。
 - ・CH16では、送信出力を変更しても、電源を切って入れたとき、または次にCH16を呼び出したときは自動的に“HI”に設定されます。



注意

- ・アルカリ乾電池ケース SBT-13 を使用している場合は、“LO” (1W) のみ設定できます。
- ・リチウムイオン電池パック SBR-13LI の残量が少ない場合には、“HI” アイコンが表示されていても、“MD” (2W)、“LO” (1W) で送信する場合があります。
- ・連続して送信できる時間は最大5分です。5分間連続して送信し続けると、10秒前に警告のビーブ音が鳴り、その後自動的に送信が停止します。
- ・自動的に送信が停止したときには、一度 **PTT** スイッチを放して、10秒以上経ってから再度 **PTT** スイッチを押して送信してください (送信停止後 10秒間は **PTT** スイッチを押しても送信できません)。

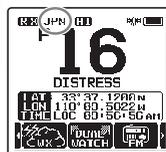
チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)

本機のチャンネルグループを USA (アメリカ) /INTL (インターナショナル) /JPN (日本) から選択できます。

注意:日本国内では工場出荷時設定の“JPN”(日本)のまま、ご使用ください。



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して“USA”、“INTL”、“JPN”からチャンネルグループを選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



キーロック操作

誤ってフロントパネルのキーに触れた時などに、チャンネルなどが変わらないようにロックすることができます。

[On]キーを長押しすると、画面に“KEY LOCK”と表示されて、フロントパネルのキーがロックされます。

もう一度、[On]キーを長押しすると、画面に“UNLOCK”と表示されて、ロックが解除されます。

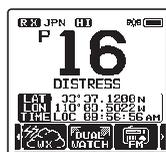
NOAA ウェザーチャンネル

NOAA（アメリカ海洋大気局）ウェザーチャンネルを受信します。

参考：NOAA ウェザーチャンネルはアメリカで運用されているため、日本の周辺では受信できません。

1. [◀]/[▶]キーを何度か押して“WX”ソフトキーを表示させて押します。
画面の上部に“WX”インジケータが表示されます。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押してNOAA ウェザーチャンネル（1～10）を選択します。

NOAA ウェザーチャンネル受信を終了するには、[CH]ソフトキーを押します。“WX”インジケータが消えて、元のチャンネルに戻ります。



ウェザーアラート (WEATHER ALERT)

HX890Jはスキャン中にウェザーチャンネルで停止したとき、または、別のチャンネルで、ウェザーアラートを受信するとアラーム音が鳴って、画面に表示されます。

NOAA ウェザーチャンネルでウェザーアラートを受信するとスキャンが停止して、大きなアラーム音が鳴ります。いずれかのキーを押すとアラーム音が止まります。

[OK] ソフトキーを押すと確認画面が表示されます。ウェザーチャンネルに切り替えるには [YES] ソフトキーを押し、国際 VHF チャンネルに戻るには [NO] ソフトキーを押します。ウェザーアラート機能を無効にするには、“ウェザーアラート (WEATHER ALERT)” (84 ページ) を参照してください。



マルチワッチ (MULTI WATCH) 機能

マルチウォッチは、2 つまたは 3 つのチャンネルをスキャンして、優先チャンネルで信号を受信すると自動的に一時停止して信号を聞くことができます。

- デュアルウォッチでは、通常の VHF チャンネルと優先チャンネルが交互にスキャンされます。
- トリプルウォッチでは、通常の VHF チャンネル、プライオリティチャンネル、サブチャンネルが順番にスキャンされます。

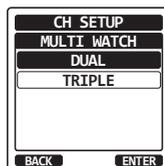
マルチワッチ機能の設定



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “DUAL” または “TRIPLE” を選択します。

DUAL: “優先チャンネル” と “通常の VHF チャンネル” を交互にスキャンします。

TRIPLE: “優先チャンネル” と “サブチャンネル”、“通常の VHF チャンネル” を交互にスキャンします。



工場出荷時設定は “DUAL” です。

2. [ENTER] ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

2 波同時受信をスタートする

1. 前項の“マルチワッチ機能の設定”の手順2で“DUAL”に設定します。
2. [SQL]キーを押してから、[CH▼]/[CH▲]キーを押してバックグラウンドノイズが消えるように調節します。
3. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、受信する通常チャンネルを選択します。
4. [◀]/[▶]キーを何度か押して“DUAL WATCH”ソフトキーを表示させてから、[DUAL WATCH]ソフトキーを押します。
 - 画面に“DW 16”のように表示されます。(DWに続く数字は優先チャンネル番号を表しています。)
 - 優先チャンネルで信号を受信すると、一時停止して信号を受信します。また信号が無くなるまで優先チャンネルを受信し、信号がなくなると2つのチャンネルの交互受信を再開します。
5. 2波同時受信を止めるには、もう一度[DW]ソフトキーを押すか、または[CLR]キーを押します。



前項の“マルチワッチ機能の設定”の手順2で“TRIPLE”を選択すると、[TRIPLE WATCH]ソフトキーが表示され、押すとトリプルワッチ（3波同時受信）機能が動作します。

参考

プライオリティチャンネルとサブチャンネルは、それぞれCH16、CH09（工場出荷時）から他のチャンネルに変更することができます。詳しくは“**プライオリティチャンネル (PRIORITY CHANNEL)**”（85ページ）または“**サブチャンネル (SUB CHANNEL)**”（86ページ）を参照してください。

スキャン (SCAN) 機能

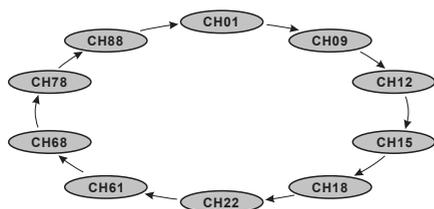
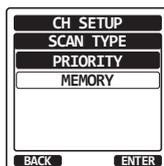
スキャン機能には、“メモリスキャン”と“プライオリティスキャン”の2種類のスキャンがあります。“メモリスキャン”はスキャンメモリに設定されたチャンネルとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルをスキャンします。

“プライオリティスキャン”は優先チャンネル（チャンネル16）とスキャンメモリとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルをスキャンします。スキャン中にいずれかのチャンネルで信号を受信すると、そのチャンネルでスキャンが一時停止して、受信音を聞くことができます。信号がなくなると自動でスキャンを再開します。

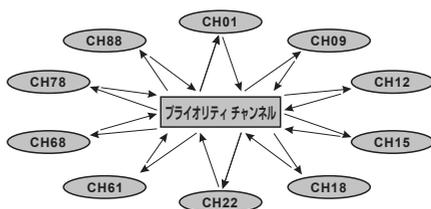
スキャンタイプの設定



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“**PRIORITY**”または“**MEMORY**”を選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



メモリスキャン (M-SCAN)

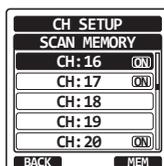


プライオリティスキャン (P-SCAN)

スキャンメモリの設定



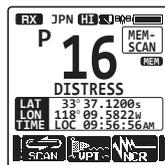
1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してスキャンするチャンネルを選択してから、[MEM] ソフトキーを押します。設定されたチャンネルの右側には“**ON**”アイコンが表示されます。
2. 手順 1 を繰り返して、スキャンする全てのチャンネルを設定します。
スキャンメモリの設定を解除するには、設定されているチャンネルを選択して [MEM] ソフトキーを押して“**ON**”アイコンを消します。
3. 全てのチャンネルの設定が完了したら、[CLR] キーを押して通常画面に戻ります。
スキャンメモリに設定されたチャンネルは、通常画面では“**MEM**”アイコンが表示されます。



ソフトキーに“**SCAN MEMORY**”が割り当てられている場合には、通常画面で [MEM] ソフトキーを押すたびに、現在のチャンネルのスキャンメモリ設定のオンがオフが切り替わります。

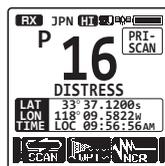
メモリスキャン

1. 設定メニューでスキャンタイプを“**MEMORY**”に設定します。詳しくは前項の“**スキャンメモリの設定**”を参照してください。
2. [SQL] キーを押してから、[CH ▼]/[CH ▲] キーを押してバックグラウンドノイズが消えるように調節します。
3. [◀]/[▶] キーを何度か押して、[SCAN] ソフトキーを表示させて押します。
 - “**MEM-SCAN**” アイコンが表示され、メモリスキャンが開始されます。
 - スキャンメモリーとプリセットチャンネルに設定されたチャンネルを小さい番号から大きい番号の順にスキャンして、信号を受信するとそのチャンネルで自動的に一時停止して信号を聞くことができます。一時停止中はチャンネル番号が点滅します。
4. スキャンを止めるには [SCAN] ソフトキーまたは [CLR] キーを押します。



プライオリティスキャン

1. 設定メニューでスキャンタイプを“**PRIORITY**”に設定します。詳しくは“**スキャンタイプの設定**”を参照してください。
2. [SQL] キーを押してから、[CH ▼]/[CH ▲] キーを押してバックグラウンドノイズが消えるように調節します。
3. [◀]/[▶] キーを何度か押して、[SCAN] ソフトキーを表示させて押します。
 - “**PRI-SCAN**” アイコンが表示され、プライオリティスキャンが開始されます。
 - スキャンメモリーとプリセットチャンネル、プライオリティチャンネルをスキャンします。優先チャンネルは設定された各チャンネルごとに、1 回スキャンされます。
 - 信号を受信するとそのチャンネルで自動的に一時停止して信号を聞くことができます。一時停止中はチャンネル番号が点滅します。
4. スキャンを止めるには [SCAN] ソフトキーまたは [CLR] キーを押します。



参考

プライオリティチャンネルとサブチャンネルは、それぞれCH16、CH09（工場出荷時）から他のチャンネルに変更することができます。詳しくは“**プライオリティチャンネル (PRIORITY CHANNEL)**”（85 ページ）または“**サブチャンネル (SUB CHANNEL)**”（86 ページ）を参照してください。

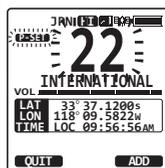
プリセットチャンネル機能

よく使うチャンネルを最大 10 個まで記憶（プリセット）しておいて、簡単に呼び出すことができます。

[PRESET] ソフトキーやその他のソフトキーの割り付けについて、詳しくは“**ソフトキー (SOFT KEYS)**”（79 ページ）を参照してください。

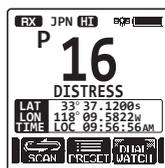
プリセットチャンネルの設定

- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して設定するチャンネルを選択します。
- [◀]/[▶] キーを何度か押して、[PRESET] ソフトキーを表示させて、長押しします。
“P-SET” アイコンとチャンネル番号が点滅します。
- [ADD] ソフトキーを押すと現在のチャンネルがプリセットチャンネルに設定されて、“P-SET” アイコンが表示されます。
- 手順 1～3 を繰り返して、最大 10 チャンネルまで設定できます。11 チャンネル以上、登録しようするとエラー音が鳴ります。



プリセットチャンネルの呼び出し

- [◀]/[▶] キーを何度か押して、[PRESET] ソフトキーを表示させて押すと、プリセットチャンネルが呼び出されます。
“P-SET” アイコンが表示されます。
- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してプリセットチャンネルを選択します。
- [◀]/[▶] キーを何度か押して、[PRESET] ソフトキーを表示させて押すと、元のチャンネルに戻ります。
“P-SET” アイコンが消えます。



プリセットチャンネルの設定解除

1. [◀]/[▶]キーを何度か押して、[PRESET] ソフトキーを表示させて押すと、プリセットチャンネルが呼び出されます。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押して設定を解除するプリセットチャンネルを選択します。
3. [◀]/[▶]キーを何度か押して、[PRESET] ソフトキーを表示させて、長押しします。
“P-SET” アイコンとチャンネル番号が点滅します。
4. [DELETE] ソフトキーを押すと、設定が解除されます。
5. 手順 2～3 を繰り返して、必要のないプリセットチャンネルの設定を解除します。
6. [QUIT] ソフトキーを押すと通常画面に戻ります。



FM ラジオ放送を聴く

FM ラジオ放送の受信ができます。

1. [◀]/[▶]キーを何度か押して、[FM] ソフトキーを表示させて押します。
FM ラジオ画面が表示されます。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押して 100kHz ステップで周波数を設定します。
[CH▼]/[CH▲]キーを押し続けると連続的に周波数が変化します。
FM ラジオモードを止めるには、[CLR] キーを押します。
通常画面に戻ります。



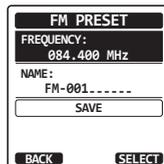
FM ラジオ放送帯をスキャンする

1. [◀]/[▶]キーを何度か押して、[FM] ソフトキーを表示させて押します。
2. [SWEEP] ソフトキーを押すと、スキャンが開始されます。
現在の周波数から高い周波数へ 100kHz ステップでスキャンして、FM 放送を受信するとスキャンを解除します。
3. スキャンを止めるには、もう一度 [SWEEP] ソフトキーを押します。

FM ラジオ放送の周波数をメモリーする

1. FM ラジオ放送受信モードで、メモリーする周波数を選択します。
2. [PRESET] ソフトキーを押して “FM PRESET” 画面を表示します。

3. 周波数を編集するには、[SELECT] ソフトキーを押します。メモリーの名前タグを編集するには、[CH▼] キーを押して “NAME:” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. [CH▼]/[CH▲]/[◀]/[▶] キーを押して、最初の文字を選択して、[SELECT] ソフトキーを押して、次の桁に移動します。
5. 入力が完了したら [FINISH] ソフトキーを押します。
6. [CH▼] キーを押して “SAVE” を選択してから、[SELECT] ソフトキーを押して、FM 放送の周波数をメモリーします。



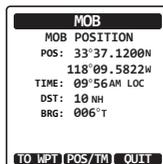
メモリーを呼び出す

1. [NEXT] ソフトキーを押すと、FM ラジオ放送メモリーを呼び出します。[NEXT] ソフトキーを押すたびに、メモリーが順に呼び出されます。

MOB (Man Overboard、落水者) 機能

MOB (Man Over-Board) 機能は、落水者が発生した場合に位置情報を即座に記録します。これにより、レポートを作成し、正確な地点へ移動できます。

1. [◀]/[▶] キーを何度か押して、[MOB] ソフトキーを表示させて押します。
2. [TO WPT] ソフトキーを押して、表示された位置へのナビゲーションを開始します。ナビゲーション機能について詳しくは、“ナビゲーション” (62 ページ) を参照してください。



表示された位置情報を変更するには、[POS/TM] ソフトキーを押します。位置情報の編集について詳しくは、“ウェイポイントの編集” (65 ページ) を参照してください。



3. DSC 遭難通報を送信するには、トランシーバーの背面にある赤色の DISTRESS カバーを開いて、[DISTRESS] キーを 3 秒以上押し続けます。詳しくは“遭難通報の送信” (30 ページ) を参照してください。このとき DSC 遭難通報の種類は自動的に “MOB” に設定されます。

MENU 操作

フロントパネルの [MENU/SET] キーを押して表示される“MENU”画面から、以下のような多彩な機能呼び出すことができます。



● DSC CALL

次の 4 種類の DSC（デジタル選択呼び出し）を使用できます。

個別コール

グループコール

位置情報通知

自動ポジジョンポーリング

このメニューでは、以下の DSC 機能の機能や設定も可能です。

- 遭難通報の種類を設定（DIST ALERT MSG）
- 以前に受信した DSC コールの表示（DSC LOG）
- DSC テストコールの送信（DSC TEST）
- トランシーバーの DSC 機能のテスト（DSC LOOP BACK）

● CH

このメニューを選択すると、ウェザーチャンネル受信を終了し、通常の画面に戻ります。

● GM

GM（グループモニター）機能は、グループに登録した船舶に定期的に問合せを送信して、グループの船舶の位置を画面に表示します。

● GPS

現在位置情報や進行方向、移動速度を数値画面またはコンパス画面で表示できます。補足した GPS 衛星の位置と信号強度を確認することもできます。

● NAVI

メモリーされたウェイポイント、または一時的に入力したウェイポイントへのナビゲーションができます。

● MMSI/POS INFO

DSC 機能を使用する前に、MMSI（Maritime Mobile Service Identity）番号を入力します。また設定した MMSI 番号を確認することができます。

GPS 機能

HX890Jには、GPS 衛星からの信号を受信して、位置情報を表示するためにGPS アンテナが内蔵されています。自船の現在位置情報または他の船舶から受信した位置情報を保存してナビゲーションに利用できます。

参考

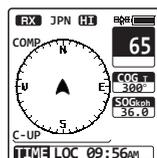
SETUPメニューで内蔵GPSをオフにするか、省電力モードに設定して本機のバッテリーの消費を減らすことができます。詳しくは“**GPS 機能のオン/オフ (GPS ON/OFF)**” (94 ページ) を参照してください。

位置情報表示

GPS コンパス画面



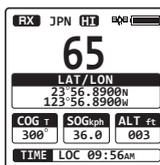
1. [ENTER] ソフトキーを押すと、コンパス画面が表示されます。
2. [CLR] キーを押すと、通常画面に戻ります。
参考：ソフトキーに“**COMPASS**”機能を割り当てているときは、[COMP] ソフトキーを押すと、コンパス画面と通常画面を切り替えることができます。



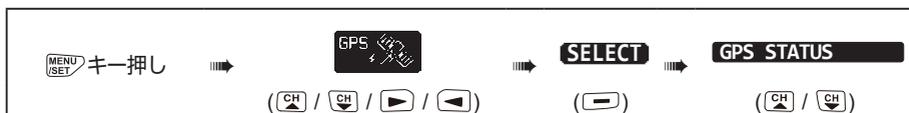
GPS 情報画面



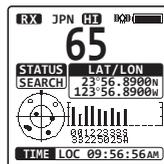
1. [ENTER] ソフトキーを押すと、GPS 情報画面が表示されます。
2. [CLR] キーを押すと、通常画面に戻ります。



GPS 受信状態を確認する



1. [ENTER] ソフトキーを押すと、現在の GPS 信号の受信状態を表示します。
2. [CLR] キーを押すと、通常画面に戻ります。



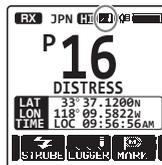
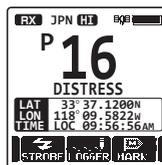
GPS ロガー (移動軌跡保存) 機能

GPS ロガー機能をオンにすると定期的に自船の位置情報を本機に保存して、あとから USB ケーブルで接続したパソコンにダウンロードすることができます。

1. [◀]/[▶] キーを何度か押して、[LOGGER] ソフトキーを表示させて押すと、画面の上部に “” アイコンが表示され、移動軌跡の保存が開始されます。

- 位置情報を保存する時間間隔は、設定メニューで変更できます。詳しくは “**ロガー記録時間間隔 (LOGGER INTERVAL)**” (98 ページ) を参照してください。

注意: 本機に保存されたロガーデータを利用するには、HX890J をパソコンに接続して、PC プログラミングソフトウェアを使ってロガーデータをパソコンにダウンロードします。詳しくは “**パソコンとの接続**” (101 ページ) を参照してください。



参考

GPS ロガー機能の使用中は、GPS ユニットの省電力設定は自動的に無効になります。

GPS ロガー機能使用中の注意:

- 本機のログデータ用のメモリーがいっぱいになると、ビーブ音が 3 回鳴り、警告メッセージが表示されます。メモリー内のログデータを消去するまでロガー機能を使うことはできません。
- 何らかの理由でログデータが保存できないときは、ビーブ音が 3 回鳴り、警告メッセージが表示されます。GPS ロガー機能は停止します。
- ログデータ用のメモリーがいっぱいとなったことを知らせる警告メッセージ画面、または設定メニューでログデータを消去することができます。設定メニューの操作について、詳しくは “**ログ消去 (LOG ERASE)**” (98 ページ) を参照してください。

DSC (Digital Selective Calling) 機能

DSC 機能の概要

DSC (Digital Selective Calling、デジタル選択呼出) は半自動化された無線通信方式で、国際海事機関 (IMO) が国際標準として制定しています。また、DSC は世界海難救助システム (GMDSS) の一部としても制定されています。

DSC により、乗組員が GPS 位置情報 (トランシーバーに GPS 受信機が接続されている場合) を含んだ遭難通報を、海岸局および通信範囲内の他の船舶に即座に送信することができます。また DSC 対応トランシーバーを装備した他の船舶との間で遭難、緊急、安全、位置情報要求などを送受信できます。

遭難通報 (DSC DISTRESS ALERT)

HX890J は、すべての DSC 対応トランシーバーとの間で遭難通報を送信および受信することができます。HX890J の遭難通報には、GPS 信号を受信しているとき、自船の緯度と経度の情報が含まれています。

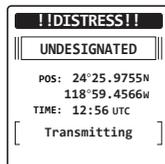
遭難通報の送信

注意

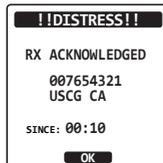
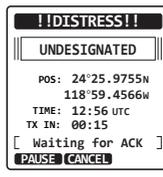
DSC 遭難通報を送信するためには、必ず HX890J に MMSI 番号を登録する必要があります。詳しくは“**MMSI 番号の登録**” (10 ページ) を参照してください。

● 基本操作

1. 背面の赤色のカバーを開いて、[**DISTRESS**] キーを 3 秒間押し続けると、画面にカウントダウン (3 sec - 2 sec - 1 sec) を表示して、その後、遭難通報を送信します。
カウントダウンの間、画面とキーのバックライトが点滅します。



2. 遭難通報を送信すると、確認応答を受信するまで CH70 を受信します。
3. 確認応答が受信されない場合、遭難警報が受信されるまで、遭難警報が 4 分間隔で繰り返されます。
4. 遭難通報への確認応答を受信すると、遭難アラームが鳴り、自動的にチャンネル 16 に切り替わります。応答した船舶の MMSI が表示されます。



5. **PTT** スイッチを押しながら、ゆっくり、はっきりと下記の内容を話します。
 - (1) メーデー、メーデー、メーデー
 - (2) こちらは <船名> です。(3回繰り返します)
 - (3) こちらは <コールサインまたは自船の ID 番号> す。
 - (4) 自船の位置 (緯度 / 経度)
 - (5) 遭難の状況
 - (6) 要請する救助事項
 - (7) 救助を待つ人数
 - (8) その他、救助の役に立つ情報 (船の大きさ、色、タイプなど)
 - (9) どうぞ
6. **PTT** スイッチを放して、応答を待ちます。
注意: 遭難通報を中止するには、“**遭難通報の取り消し**” (33 ページ) を参照して、“**遭難通報の取り消し**” を行ってください。

● **遭難の種類 (原因) を指定して DSC 遭難通報送信する**

以下の遭難の種別を指定することができます。

“UNDESIGNATED” (不測の事態)、“FIRE/EXPLOSION” (火災 / 爆発)、“FLOODING” (浸水)、“COLLISION” (衝突)、“GROUNDING” (座礁)、“CAPSIZING” (転覆)、“SINKING” (沈没)、“ADRIFT” (漂流)、“ABANDONING” (破棄)、“PIRACY” (海賊行為)、“MOB” (落水)

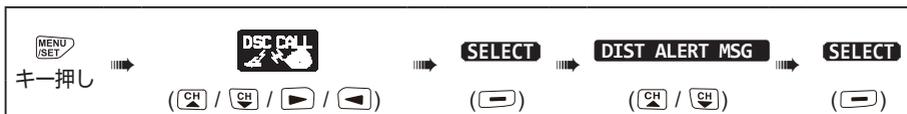


1. [NATURE]ソフトキーを押して、“NATURE OF”メニューを表示させます。
2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、遭難通報の種類を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
3. [DISTRESS]キーを3秒以上押し続けて、遭難通報を送信します。



● 位置情報と時刻を手動で入力して遭難通報を送信する

なんらかの理由でHX890JがGPS測位ができない場合に、緯度と経度、および時刻を手動で入力して遭難通報を送信することができます。



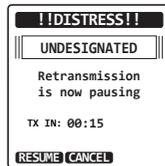
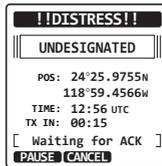
1. [POS/TM]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーを押して、緯度の最初の数字を選択し、[SELECT]ソフトキーを押して次の桁に移動します。
3. 手順2を繰り返して、“緯度” (Lat) と “経度” (Lon)、“時刻”を入力します。
もし間違えて入力したときは、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーを押して、“←”または“→”を選択します。続けて[SELECT]ソフトキーを押して、間違えた数字を選択して手順2に従って正しい数字を入力します。
4. すべての入力が完了したら[FINISH]ソフトキーを押して、設定を保存して前の画面に戻ります。
5. [DISTRESS]キーを3秒以上押し続けて、遭難通報を送信します。



● 遭難通報の自動送信を一時的に停止する

遭難通報を送信した後は、遭難通報の応答を受信するか、または遭難通報の取り消しの操作をするか、本機の電源がオフにされるまで、遭難通報の送信を約4分前後の間隔で自動で繰り返します。以下の手順で遭難通報の再送信を一時停止できます。

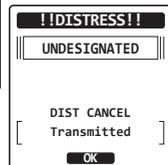
1. 遭難通報を送信した後、画面が右図のような表示になります。
この表示例の“TX IN: 00:15”は、次回の遭難通報を再送信するまでの時間（15秒後）を示しています。
2. 遭難通報の再送信を一時停止するには、**[PAUSE]** ソフトキーを押します。
3. 遭難通報を再送信するために、一時停止を解除するには、**[RESUME]** ソフトキーを押します。



● 遭難通報の取り消し

もし、誤って遭難通報を送信してしまったときは、他船からの応答を待っている間に、下記の操作を行って“**遭難通報の取消**”を送信してください。

1. **[CANCEL]** ソフトキーを押してから、**[YES]** ソフトキーを押します。
2. 遭難通報キャンセルが送信されたら、**[OK]** ソフトキーを押します。



3. マイクの **PTT** スイッチを押しながら、ゆっくり、はっきりと下記の内容を話します。
 - (1) 各局、各局、各局
 - (2) こちらは<船名>です。(3回繰り返します)
 - (3) <MMSI 番号>の遭難通報を取り消します。
 - (4) (上記(1)から(3)までを3回繰り返します。)
 - (5) どうぞ
4. **[FINISH]** ソフトキーを押します。
5. **[QUIT]** ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。

遭難通報の受信

1. 遭難通報を受信すると、緊急を知らせるためにアラーム音が鳴ります。
2. 何かキーを押すとアラーム音が止まります。
3. **[CH ▼]** キーを何度か押して、遭難している船舶の詳細情報を表示します。



3つのソフトキーの機能は以下のとおりです。

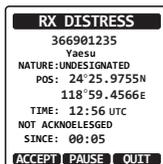
[ACCEPT]: このキーを押して、遭難通報を受け入れて、チャンネル 16 に切り替えます。

参考: [ACCEPT] ソフトキーが押されない場合でも、遭難通報を受信して 30 秒以上経つと、自動でチャンネル 16 に切り替わります。

切り替わる時間は DSC 設定メニューの“自動チャンネル変更 (CHANNEL SWITCH TIMER)” (91 ページ) で変更できます。

[PAUSE]: チャンネル 16 への自動切り替えを一時的に停止するには、このキーを押します。

[QUIT]: このキーを押すと、通常画面に戻ります。



● 遭難している船舶の地点にナビゲーションする

1. 前項の“遭難通報の受信”の手順 3 で、[ACCEPT] キーを押して、遭難通報を受け入れた後に、[TO WPT] ソフトキーを押して、遭難している船舶をウェイポイントとして設定します。



2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してツマミをまわして“SAVE & GOTO”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押すと、ナビゲーション画面に切り替わり、ウェイポイントへのナビゲーションが開始されます。



遭難している船舶の距離と方位が表示され、コンパス内には船舶の方向が点 (●) で表示されます。

3. ナビゲーションを終了するには、いずれかのソフトキーを押してから、[STOP] ソフトキーを押して通常画面に切り替えます。

注意

- 救助のために海岸局が援助を必要とするかもしれないので、チャンネル 16 を受信し続ける必要があります。
- 未確認の遭難警告があるとき、画面に“☐”アイコンが表示されます。DSC ログから未確認の遭難通報を確認することができます。“ログに保存されている受信した遭難通報の確認” (59 ページ) を参照してください。

全船コール

全船コールは個別の MMSI を指定しなくても、DSC 対応トランシーバーを装備している全ての船舶を呼び出すことができます。また、呼び出しの種類を“**SAFETY**”（安全）または“**URGENCY**”（緊急）から指定できます。

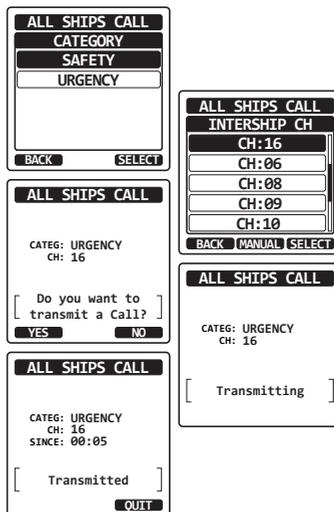
SAFETY コール： この呼び出しは、船舶安全情報を他の船舶に送信するために使用されます。

URGENCY コール： この呼び出しは、船舶が遭難していないかもしれないが、遭難につながる潜在的な問題がある場合に使用されます。

全船コールの送信



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、呼び出しの種類（“**SAFETY**”または“**URGENCY**”）を選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押してキーを押します。すべての音声チャンネルからチャンネルを選択するには、[MANUAL]ソフトキーを押します。
3. [YES]ソフトキーを押して、選択した種類の全船コールを送信します。
4. 全船コールが送信された後、手順2で選択されたチャンネルに切り替わります。
5. マイクのPTTスイッチを押しながら、ゆっくり、はっきりと下記の内容を話します。



呼び出しの種類が“Safety”（安全）の場合

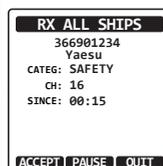
- (1) “PAN PAN”（パン パン）（3回繰り返します）
- (2) こちらは<船名>です。（3回繰り返します）
- (3) こちらは<コールサインまたは自船のID番号>
- (4) MMSIは<MMSI番号>です。
- (5) どうぞ

呼び出しの種類が“Urgency”（緊急）の場合

- (1) “SECURITE”（セキュリテ）（3回繰り返します）
 - (2) こちらは＜船名＞です。（3回繰り返します）
 - (3) こちらは＜コールサインまたは自船の ID 番号＞
 - (4) MMSI は＜MMSI 番号＞です。
 - (5) （安全通報の内容を通報します。）
 - (6) どうぞ
6. [QUIT] ソフトキーを押して、全船コールメニューを終了します。

全船コールの受信

1. “全船コール”を受信すると、アラーム音が鳴ります。
“全船コール”を送信している船舶の MMSI 番号が画面に表示され、30 秒後に自動で指定されたチャンネルに変更されます。
2. なにかキーを押すとアラーム音が停止します。
3. すべての船舶の通信が完了するまで、指定されたチャンネルを受信します。



画面の 3 つのソフトキーの機能は以下のとおりです。

[ACCEPT] キー：このキーを押すと、全船コールを受け付け、要求されたチャンネルに切り替わります。

参考：[ACCEPT] ソフトキーが押されない場合でも 30 秒以上経つと、自動で指定されたチャンネルに変更されます。切り替え時間は DSC 設定メニューの“自動チャンネル変更 (CHANNEL SWITCH TIMER)” (91 ページ) で変更できます。

[PAUSE] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えが一時的に無効になります。

参考：場合によっては、要求されたチャンネルに自動的に切り替わると、通話中の重要な通信が中断される場合があります。この機能により、チャンネル切り替えを一時停止して、現在のチャンネルで通信を続けることができます。

[QUIT] キー：このキーを押すと、自動チャンネル切り替えが終了し、最後に選択していたチャンネルに戻ります。

4. [QUIT] ソフトキーを押して、通常の画面に戻ります。

注意

未確認の全船コールがあると、画面に“☒”アイコンが表示されます。DSC ログから未確認の全船呼び出しを確認することができます。“ログに記録されている他の呼び出し（コール）の確認”（60 ページ）を参照してください。

個別コール

HX890J は DSC 対応トランシーバーを搭載している他の船舶を呼び出して、受信したトランシーバーを指定の通信チャンネルに自動で切り替えることができます。

個別アドレス帳の登録

個別アドレス帳には、個別コールおよびポーリング、位置情報通知、自動ポジションポーリング、位置情報要求などを使って、連絡する船舶または個人の名前および関連する MMSI 番号を最大 100 件まで保存することができます。

個々の通話を送信するには、相手の情報を個別アドレス帳 (INDIVIDUAL DIRECTORY) に登録する必要があります。



- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“ADD”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“NAME:”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
- [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して、船舶または個人の名前の最初の文字を選択します。
- [SELECT] ソフトキーを押して、次の桁に移動します。
- 入力が完了するまで、手順 3 と 4 を繰り返します。名前は最大 15 文字まで入力できます。
- もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して“←”または“→”を選んでから、[SELECT] ソフトキーを何度か押して間違った文字を選択して、手順 3 と 4 で正しい文字を入力します。
- 名前の入力が完了したら、[FINISH] ソフトキーを押します。



8. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“MMSI:”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
9. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーを押して、船舶または個人の名前の最初の文字を選択します。
10. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]数字を選択します。[SELECT]ソフトキーを押して1つ右に移動します。同じ手順で9桁のMMSI番号をすべて入力します。
もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーを押して“←”または“→”を選んでから、[SELECT]ソフトキーを何度か押して間違った数字を選択して、正しい数字を入力します。
11. MMSI番号の入力が完了したら、[FINISH]ソフトキーを押します。
12. [CH ▼]キーを押して、“SAVE”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押して設定を保存します。
13. 続けて他の船舶を入力するには、手順1～12を繰り返します。
14. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



個別コール返答の設定

このメニュー項目では、個別コールを受信したときに、自動または手動（工場出荷時設定）で返答して、音声通信のためのチャンネルに切り替えるように設定できます。“MANUAL”を選択すると、呼び出してきた船舶のMMSI番号が表示され、誰が呼び出しているかを確認してから返答することができます。

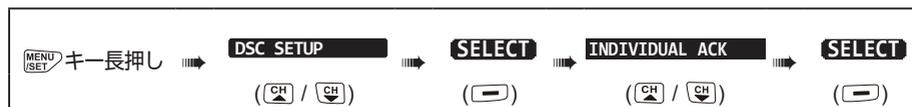


1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“AUTO”または“MANUAL”を選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



個別コールの確認応答内容の設定

上記の“個別コール返答の設定”が“**AUTO**”に設定されている場合、自動で送信する確認応答を“**ABLE**”（応答可）または無効“**UNABLE**”（応答不可）から設定できます。工場出荷時設定は“**ABLE**”です。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“**ABLE**”（応答可）または無効“**UNABLE**”（応答不可）を選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



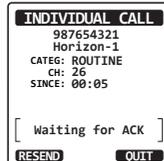
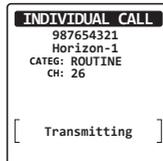
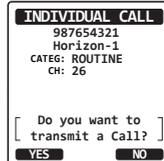
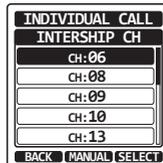
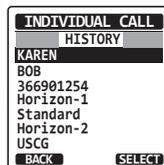
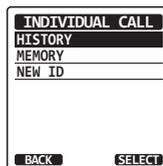
個別コールの送信

DSC 対応トランシーバーを搭載した他の船舶を呼び出すことができます。

● 個別アドレス帳を使用して個別コールを送信する



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“**HISTORY**”または“**MEMORY**”を選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して通信する個別の相手を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して通信するチャンネルを選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL]ソフトキーを押してから選択します。
4. 個別コールを送信するには [YES]ソフトキーを押します。
5. 別コールの確認応答を受信すると、上記の手順3で選択したチャンネルに自動的に変更されて、呼び出し音が鳴ります。



6. [QUIT] ソフトキーを押して、受信してチャンネルが使用中でないことを確認してから、PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

● MMSI 番号を手動で入力して個別コールを送信する

個別アドレス帳を使わずに、MMSI 番号を手動で入力して、個別コールを送信することができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“NEW ID”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。



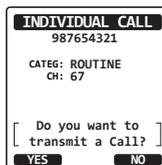
2. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して MMSI 番号の 1 桁目の数字を選択し、[SELECT] ソフトキーを押して、次の桁に移動します。



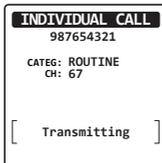
3. 手順 2 を繰り返して 9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。



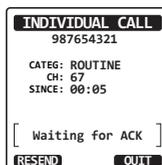
もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して、“←” または “→” を選んでから、[SELECT] ソフトキーを何度か押して間違った文字を選択して、手順 2 で正しい数字を入力します。



4. MMSI 番号をすべて入力したら、[FINISH] ソフトキーを押します。



5. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して通信するチャンネルを選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL] ソフトキーを押してから選択します。



6. [YES] ソフトキーを押して個別コールを送信します。

7. 個別コールの確認応答を受信すると、上記の手順 5 で選択したチャンネルに自動的に変更されて、呼び出し音が鳴ります。

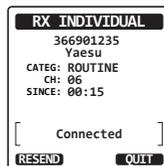
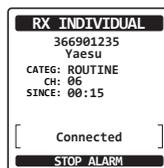
8. [QUIT] ソフトキーを押して、受信してチャンネルが使用中でないことを確認してから、PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

個別コールの受信

個別呼び出しを受信すると、トランシーバーは呼び出した船に自動（工場出荷時設定）で応答して、音声通信のために指定されたチャンネルに切り替わります。個別コールに応答する前に呼び出してきた相手を確認するには、“個別コール返答の設定”（38 ページ）を参照して“**MANUAL**”に設定します。

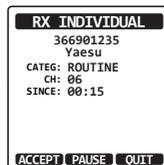
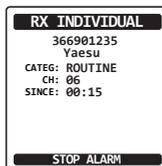
自動応答（“**AUTO**”に設定されている場合）：

1. 個別コールを受信すると、ベル音が鳴ります。
呼び出してきた船舶の MMSI 番号が画面に表示され、30 秒後に自動で指定されたチャンネルに変更されます。
2. なにかキーを押すとアラームが停止します。
3. 相手の通話が終わるまで、要求されたチャンネルを受信します。**PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かって話して、個別コールを開始した船と通信します。
4. [**QUIT**] ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。



手動応答（“**MANUAL**”に設定されている場合）：

1. 個別コールを受信すると、アラーム音が鳴ります。
呼び出してきた船舶の MMSI 番号が画面に表示されます。
2. なにかキーを押すとアラームが停止します。



画面の 3 つのソフトキーの機能は以下のとおりです。

[**ACCEPT**] キー：このキーを押すと、全船コールを受け付け、指定されたチャンネルに切り替わります。

[**PAUSE**] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えが一時的に無効になります。

参考：場合によっては、指定されたチャンネルに自動的に切り替わると、通話中の重要な通信が中断される場合があります。この機能により、チャンネル切り替えを一時停止して、現在のチャンネルで通信を続けることができます。

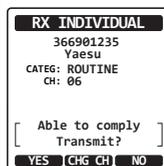
[**QUIT**] キー：このキーを押すと、自動チャンネル切り替えが終了し、最後に選択していたチャンネルに戻ります。

参考：30 秒以上なにもキーを押さないと、トランシーバーは自動的に通常画面にもどります。

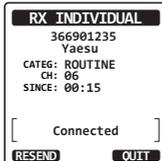
3. 個別コールを受け入れる場合は、[ABLE] ソフトキーを押して、指定されたチャンネルに切り替えます。(応答できないことを船舶に知らせる場合は、[UNABLE] ソフトキーを押します)。



4. [YES] ソフトキーを押して確認応答を送信します。



通信チャンネルを変更する場合は[CHG CH]ソフトキーを押して、チャンネルを選択します。



5. 相手局からの通信が終わるまで、要求または指定されたチャンネルを受信します。

PTT スイッチを押しながら、マイクに向かって話して、呼び出してきた船舶と通信します。

6. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。

注意

未確認の個別コールがあると、画面に“☒”アイコンが表示されます。DSC ログから未確認の全船呼び出しを確認することができます。“ログに記録されている他の呼び出し(コール)の確認”(60 ページ)を参照してください。

個別コールのベル音を設定する

個別コールを受信すると、工場出荷時設定ではベル音が 2 分間鳴ります。この設定項目でベル音が鳴る時間を設定できます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して個別コールのベル音が鳴る時間を選択します。

2. [ENTER] ソフトキーを押して設定を保存します。

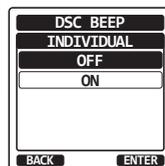
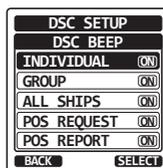
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



● 個別コールのベル音をオフにする



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“INDIVIDUAL”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“OFF”を選択します。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



呼び出し音を再びオンにするには、上記の手順 2 で “ON” を選択します。

グループコール

グループ通話機能を備えた DSC 対応トランシーバーを搭載している船舶のグループを呼び出して、音声通信のための指定チャンネルに自動的に切り替えることができます。この機能は、ヨットクラブや一緒に移動する船舶が、あらかじめ決めたチャンネルで一斉に連絡をしたい場合に大変便利です。最大 20 グループの MMSI 番号を登録することができます。

グループコールを設定する

この機能を使用するには、この機能を使用する船舶グループ内のすべての DSC VHF トランシーバーに同じグループ MMSI をプログラムする必要があります。

船舶 MMSI: 船舶 MMSI の MID (Mobile Identity Group) と呼ばれる最初の 3 桁は、船舶 MMSI が登録されている国を示します。最後の 6 桁は船舶に固有の ID です。

船舶 MMSI の例: MMSI が「100123456」の場合、「100」は国を意味する MID であり、「123456」は船舶 MMSI です。

グループ MMSI 番号:

- グループ MMSI 番号の最初の桁は、国際ルールによって常に「0」に設定されています。グループ MMSI 番号を入力するときは、あらかじめ最初の桁が「0」に設定されています。
- グループのすべてのトランシーバーに同じグループ MMSI 番号を登録する必要があります。他のグループの船舶が同じグループ MMSI 番号を使っている場合は、グループ MMSI 番号を変更してください。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“ADD” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“GROUP NAME:” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押してグループアドレス帳に登録するグループ名の最初の文字を選択します。
4. [SELECT] ソフトキーを押して、次の桁に移動します。
5. 入力が完了するまで、手順 3 と 4 を繰り返します。グループ名は最大 15 文字まで入力できます。



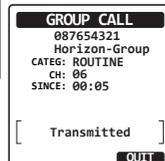
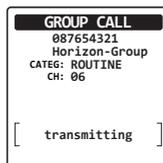
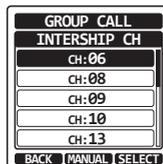
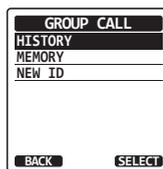
- もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して “←” または “→” を選んでから、[SELECT] ソフトキーを何度か押して間違った文字を選択して、手順 3 と 4 に従って正しい文字を入力します。
6. グループ名の入力が完了したら、[FINISH] ソフトキーを押してグループ MMSI 番号の入力に進みます。
 7. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“MMSI:” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
 8. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して、MMSI の 2 桁目の数字を選択して（1 桁目は “0” に設定されていて変更できません）、[SELECT] ソフトキーを押して次の桁に移動します。
手順 8 を繰り返して 9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。
もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して “←” または “→” を選んでから、[SELECT] ソフトキーを何度か押して間違った数字を選択して、手順 8 に従って正しい数字を入力します。
 9. MMSI 番号をすべて入力したら、[FINISH] ソフトキーを押します。
 10. [CH ▼] キーを押して “SAVE” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押して設定を保存します。
 11. 続けて他のグループ MMSI 番号を入力するには、手順 1 ~ 10 を繰り返します。
 12. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

グループコールを送信する

● グループアドレス帳を使用してグループコールを送信する



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“HISTORY” または “MEMORY” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して通信するグループを選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して通信するチャンネルを選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL] ソフトキーを押してから選択します。
4. [YES] ソフトキーを押してグループコールを送信します。
5. グループコールを送信すると、画面が図のような表示になります。
6. グループコールを送信すると、グループ内のすべてのトランシーバーが指定されたチャンネルに切り替わります。
7. チャンネルを受信して使用中でないことを確認してから、PTT スイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

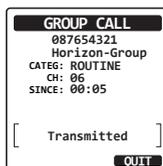
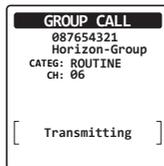
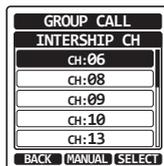


● グループ MMSI 番号を手動で入力してグループコールを送信する

グループアドレス帳を使わずに、グループ MMSI 番号を手動で入力して、グループコールを送信することができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“NEW ID”を選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーを押して、MMSIの2桁目の数字を選択して（1桁目は“0”に設定されていて変更できません）、[SELECT]ソフトキーを押して次の桁に移動します。
3. 手順2を繰り返して9桁のMMSI番号をすべて入力します。
もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーを押して“←”または“→”を選んでから、[SELECT]ソフトキーを何度か押して間違った数字を選択して、手順2に従って正しい数字を入力します。
4. MMSI番号の入力が完了したら、[FINISH]ソフトキーを押します。
5. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して通信するチャンネルを選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL]ソフトキーを押してから選択します。
6. [YES]ソフトキーを押してグループコールを送信します。
7. グループコールを送信すると、グループ内のすべてのトランシーバーが指定されたチャンネルに切り替わります。
8. チャンネルを受信して使用中でないことを確認してから、PTTスイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。



グループコールの受信

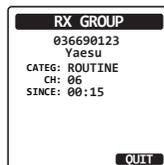
1. “グループコール”を受信すると、アラーム音が鳴ります。
2. 画面にグループMMSI番号が表示されます。
3. なにかキーを押すとアラーム音が止まります。
4. 相手の通話が終わるまで、要求されたチャンネルを受信します。PTTスイッチを押しながら、マイクに向かって話して、グループコールを開始した船と通信します。



画面の3つのソフトキーの機能は以下のとおりです。
[ACCEPT] キー：このキーを押すと、グループコールを受け付け、指定されたチャンネルに切り替わります。
[PAUSE] キー：このキーを押すと、指定されたチャンネルへの自動切り替えが一時的に無効になります。
[QUIT] キー：このキーを押すと、自動チャンネル切り替えが終了し、最後に選択していたチャンネルに戻ります。



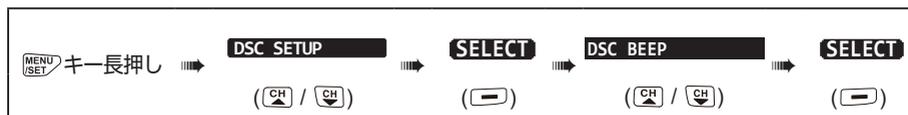
5. 応答する場合はチャンネルを受信して、使われていないことを確認してから、**PTT** スイッチを押しながら、マイクに向かって話して、グループ内の船舶と通信します。
6. **[QUIT]** キーを押して、通常画面に戻ります。
参考：30秒以上なにもキーを押さないと、トランシーバーは自動的に通常画面にもどります。



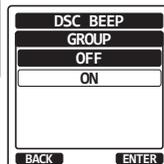
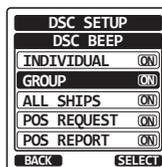
注意

未確認のグループコールがあると、画面に“☒”アイコンが表示されます。DSC ログから未確認のグループコールを確認することができます。“**ログに記録されている他の呼び出し（コール）の確認**”（60ページ）を参照してください。

グループコールのベル音をオフにする



1. **[CH ▼]**/**[CH ▲]** キーを押して、“**GROUP**” を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。
2. **[CH ▼]**/**[CH ▲]** キーを押して、“**OFF**” を選択します。
3. **[ENTER]** ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。



呼び出し音を再びオンにするには、上記の手順2で“**ON**”を選択します。

位置情報要求

他の船舶の位置を HX890J の画面に表示することができます。

注意

位置情報要求は、相手の船舶の DSC 対応トランシーバーが有効な GPS 位置情報を受信していて、位置情報要求を拒否する設定をしていない場合に有効です。

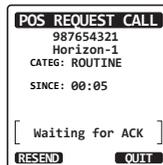
他の船舶に位置情報要求を送信する

● 個別アドレス帳を使用して位置情報要求を送信する

個別アドレス帳に他の船舶の情報を登録する方法は、“個別アドレス帳の登録” (37 ページ) を参照してください。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “HISTORY” または “MEMORY” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、位置情報を要求する船舶を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. [YES] ソフトキーを押して、位置情報要求を送信します。
4. 位置情報要求をした船舶から位置情報を受信すると、画面に表示されます。
5. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。

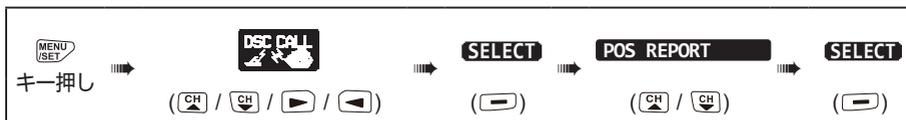


注意

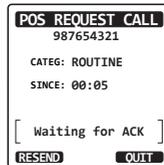
位置情報を要求した船舶から位置情報データを含む応答が受信できなかった場合、画面に “NO POSITION DATA” と表示されます。

● MMSI 番号を手動で入力して位置情報要求を送信する

個別アドレス帳を使用せずに、MMSI 番号を手動で入力して、位置情報要求を送信することができます。



1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、“NEW ID” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH▼]/[CH▲]/[◀]/[▶] キーを押して、MMSI の 1 桁目の数字を選択して、[SELECT] ソフトキーを押して次の桁に移動します。
3. 手順 2 を繰り返して 9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。
もし間違えて入力した場合は、[CH▼]/[CH▲]/[◀]/[▶] キーを押して “←” または “→” を選んでから、[SELECT] ソフトキーを何度か押して間違った数字を選択して、手順 2 従って正しい数字を入力します。
4. MMSI 番号の入力が完了したら、[FINISH] ソフトキーを押します。
5. [YES] ソフトキーを押して、位置情報要求を送信します。
6. 位置情報要求をした船舶から位置情報を受信すると、画面に表示されます。
7. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。

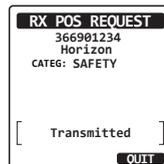


位置情報要求の受信

別の船舶から位置要求コールを受信すると、呼び出し音が鳴ります。その後の動作は、“DSC SETUP” メニューの “POSITION REPLY” 設定によって変わります。詳しくは “位置情報要求への応答の設定” (51 ページ) を参照してください。

自動応答 (“AUTO” に設定されている場合) :

1. 位置情報要求を受信すると、呼び出し音が鳴ります。
要求された自船の位置情報が、相手の船舶に自動的に送信されます。
2. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。



手動応答 (“MANUAL” に設定されている場合) :

1. 他の船舶から位置情報要求を受信すると、呼び出し音が鳴り、図のような表示になります。
2. なにかキーを押すとアラーム音が止まります。
3. 要求してきた船に自船の位置を送るには、**[REPLY]** ソフトキーを押します。または、**[QUIT]** ソフトキーを押して、位置情報要求の画面を終了します。
4. **[QUIT]** キーを押して、通常画面に戻ります。



注意

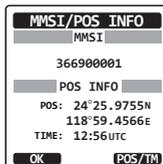
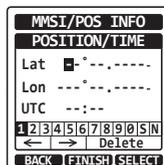
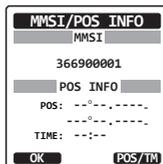
未確認の個別コールがあると、画面に“☒”アイコンが表示されます。DSC ログから未確認の全船呼び出しを確認することができます。“ログに記録されている他の呼び出し（コール）の確認”（60 ページ）を参照してください。

位置情報の手動入力

HX890J がなんらかの理由で GPS 信号が受信できない場合に、受信した位置情報要求に応答するために、位置情報（緯度と経度）と時刻を手動で入力できます。



1. **[POS/TM]** ソフトキーを押します。
2. **[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]** キーを押して、緯度の最初の数字を選択し、**[SELECT]** ソフトキーを押して次の桁に移動します。
3. 手順 2 を繰り返して、“緯度” (Lat) と “経度” (Lon)、“時刻” を入力します。もし間違えて入力したときは、**[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]** キーを押して、“←” または “→” を選択します。続けて **[SELECT]** ソフトキーを押して、間違えた数字を選択して手順 2 に従って正しい数字を入力します。



4. すべての入力が完了したら **[FINISH]** ソフトキーを押して、設定を保存して前の画面に戻ります。
5. **[OK]** ソフトキーを押します。
6. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

位置情報要求への応答の設定

他船から位置情報要求があったときに、自船の位置情報を自動または手動で送信するか設定できます。

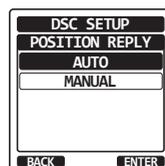
自船の位置情報を自動で知らせたくないときには、“**MANUAL**”（手動）に設定すると、画面に位置情報を要求してきた相手の MMSI 番号または個人名が表示され、要求している船舶に位置情報を送信するかどうかを選択することができます。工場出荷時設定は“**MANUAL**”です。



1. **[CH ▼]**/**[CH ▲]** キーを押して、“**AUTO**” または “**MANUAL**” を選択します。

“**AUTO**” モードでは、位置情報要求を受信したときに、自船の位置を自動で送信します。

“**MANUAL**” モードでは、位置情報要求を送信した船の MMSI 番号または名前が画面に表示され、**[YES]** ソフトキーを押すと自船の位置情報を送信します。



2. **[ENTER]** ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
3. **[CLR]** キーを押して、通常画面に戻ります。

位置情報要求を受信したときのベル音をオフに設定する

位置情報要求を受信したときのベル音のオン/オフを設定します。工場出荷時設定は“**OFF**”です。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “POS REQUEST” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “ON” または “OFF” を選択します。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、選択した設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



位置情報送信

自船の現在位置情報（緯度 / 経度）を他の船舶または海岸局に送ることができます。

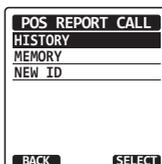
位置情報を送信する

● 個別アドレス帳を使用して位置情報を送信する

個別アドレス帳への登録方法は、“個別アドレス帳の登録”（37 ページ）を参照してください。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “HISTORY” または “MEMORY” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して相手局を選択します。
3. [YES] ソフトキーを押して、自船の位置情報を選択した船舶に送信します。
4. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。

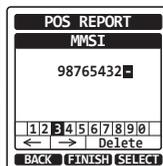
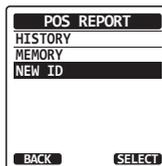


● MMSI 番号を手動で入力して位置情報を送信する

目的の船舶の MMSI を手動で入力して、自船の位置情報を送信できます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押し “NEW ID” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押し、MMSI の 1 桁目の数字を選択して、[SELECT] ソフトキーを押して次の桁に移動します。
3. 手順 2 を繰り返して 9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。
もし間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押し “←” または “→” を選んでから、[SELECT] ソフトキーを何度か押し間違えた数字を選択して、手順 2 従って正しい数字を入力します。
4. MMSI 番号をすべて入力したら、[FINISH] ソフトキーを押します。
5. もし表示された位置情報（緯度 / 経度 / 時刻）を変更したいときは、[POS/TM] ソフトキーを押して入力画面に移動します。最新の位置情報を入力したら、[FINISH] ソフトキーを押して確定します。
6. [YES] ソフトキーを押して、選択した船舶に位置情報を送信します。
7. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。

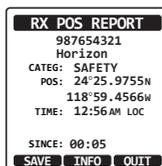


● 位置情報を手動で入力して位置情報を送信する

HX890J がなんらかの理由で GPS 信号が受信できない場合に、受信した位置情報要求に応答するために、位置情報（緯度と経度）と時刻を手動で入力できます。詳しくは“位置情報の手動入力”（50 ページ）を参照してください。

位置情報通知の受信

1. 他の船舶からの位置情報通知を受信すると、ベル音が鳴ります。
2. なにかキーを押すとベル音が止まります。
3. [INFO] ソフトキーを押すと、他の船舶の位置情報の詳細を表示します。
4. [QUIT] キーを押して、通常画面に戻ります。



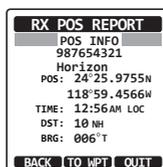
受信した位置情報の地点へのナビゲーション

受信した位置情報の地点へコンパス画面を使ってナビゲーションします。

1. 位置情報通知を受信したら、[INFO] ソフトキーを押します。
2. [TO WPT] ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してツマミをまわして“SAVE & GOTO”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押すと、ナビゲーション画面に切り替わり、ウェイポイントへのナビゲーションが開始されます。

位置情報通知を送信した船舶の距離と方位が表示され、コンパス内には船舶の方向が点 (●) で表示されます。

4. ナビゲーションを終了するには、いずれかのソフトキーを押してから、[STOP] ソフトキーを押して通常画面に切り替えます。

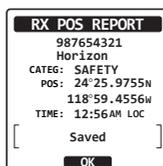
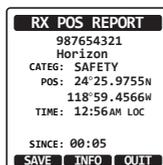


受信した位置情報の地点をウェイポイントとして保存する

1. 位置情報通知を受信した後、[SAVE] ソフトキーを押します。
2. ウェイポイントの名前を変更するには、[CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“NAME”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

変更しないときは手順 4 に進みます。

3. ウェイポイントの名前を入力します。詳しくは、“個別アドレス帳の登録” (37 ページ) を参照してください。
4. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“SAVE”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押してウェイポイントを保存します。
4. [OK] ソフトキーを押して、位置情報通知の画面に戻ります。



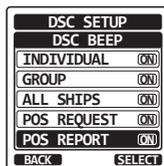
● 保存したウェイポイントへナビゲーションする

詳しくは“ナビゲーションの開始と停止” (62 ページ) を参照してください。

位置情報通知を受信したときのベル音をオフにする



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、“POS REPORT” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、“OFF” を選択します。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



呼び出し音を再びオンにするには、上記の手順 2 で “ON” を選択します。

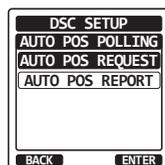
自動ポジションポーリング

個別アドレス帳から最大 6 隻の船舶を選択して、位置情報要求を定期的に送信する、または自船の位置情報を定期的に送信できます。

自動ポジションポーリングの設定



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して希望する動作を“**AUTO POS REQUEST**” (自動位置情報要求、工場出荷時設定) または “**AUTO POS REPORT**” (自動位置通知) から選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



自動ポジションポーリング送信間隔の設定



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して時間間隔 (30sec (30 秒) /1min (1 分) /2min (2 分) /3min (3 分) /5min (5 分)) を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。
2. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



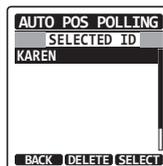
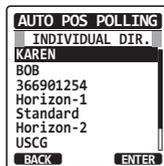
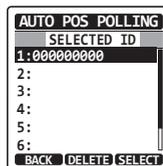
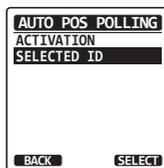
自動ポジションポーリングする船舶の指定

参考

- “自動ポジションポーリングの設定” で設定した動作 (“AUTO POS REQUEST” または “AUTO POS REPORT”) ごとに、それぞれ船舶を設定できます。あらかじめ動作を設定してから、この設定で対象とする船舶を指定してください。
- 自動ポジションポーリングする船舶を個別アドレス帳から選択しますので、“個別アドレス帳の登録” (37ページ) を参照して、あらかじめ船舶の MMSI 番号を個別アドレス帳に登録してください。



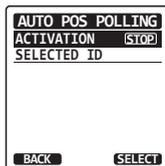
1. **[CH ▼] / [CH ▲]** キーを押して “SELECTED ID” を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。
2. **[CH ▼] / [CH ▲]** キーを押して登録する番号を選択して、**[SELECT]** ソフトキーを押します。
3. 個別アドレス帳に登録されている船舶名が表示されます。**[CH ▼] / [CH ▲]** キーを押して船舶を選択して、**[ENTER]** ソフトキーを押します。
4. 続けて他の船舶を登録する場合は、手順 2 と 3 を繰り返します。
5. すべての登録が完了したら、**[CLEAR]** キーを押して、通常画面に戻ります。



自動ポジションポーリングの開始 / 停止



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“ACTIVATION”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
2. CH ▼]/[CH ▲] キーを押して自動ポジションポーリングの“START”または“STOP”を選択してから、[ENTER] ソフトキーを押します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。自動ポジションポーリングが有効となっている間は、画面の上部に“A”アイコンが表示されます。



DSC テストコール

DSC トランシーバーを装備している他の船舶と通信して、トランシーバーの DSC 機能が動作していることを確認できます。

注意

このテストを行うには、DSC テストコールを受信するトランシーバーにも DSC テスト機能が必要です。

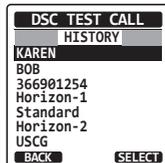
他の船舶へ DSC テストコールを送信する

● 個別アドレス帳を使用して DSC テストコールを送信する

個別アドレス帳への入力方法は、“個別アドレス帳の登録”（37 ページ）を参照してください。



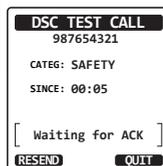
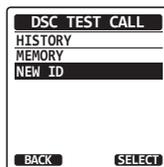
1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“HISTORY”または“MEMORY”を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、個別アドレス帳に登録されている船舶名を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
3. [YES] ソフトキーを押して、DSC テストコールを送信します。
4. [QUIT] ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。



● MMSI 番号を手動で入力して DSC テストコールを送信する



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“NEW ID” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して MMSI 番号の 1 桁目の数字を選択し、[SELECT] ソフトキーを押して、次の桁に移動します。
3. 手順 2 を繰り返して 9 桁の MMSI 番号をすべて入力します。
4. [FINISH] ソフトキーを押して、テストコール画面を表示します。
5. [YES] ソフトキーを押して、DSC テストコールを送信します。
6. [QUIT] ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。

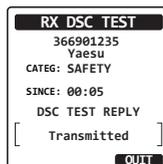


参考

呼び出した船舶からのテストコールの応答を受信すると、ベル音が鳴って、画面に“RX TEST CALL”と表示され、呼び出した船舶のトランシーバーがテストコールを受信したことを確認できます。

DSC テストコールの受信

1. DSC テストコールを受信すると、自動で呼び出してきた船舶に応答します。
2. [QUIT] ソフトキーを押して、通常画面に戻ります。



DSC ログ（送受信履歴）の操作

送信した呼び出し、受信した遭難通報、その他の呼び出し（個別、グループ、全船などの呼び出し）は DSC ログに保存されていますので、後から確認することができます。未確認の呼び出し（コール）がある場合には画面に“☑”アイコンを表示します。

ログ機能は、最大 100 件の送信を、最新の 50 件の遭難通報を、最新の 100 件の他の呼び出し（個別、グループ、全船、ポジションレポート、位置情報要求の応答、テストコールの応答、ポーリングコール）を保存できます。

参考

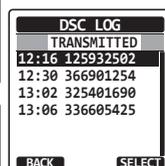
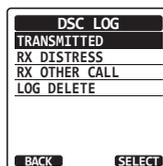
“DSC LOG” メニューを選択すると、自動的に優先度の高いログから順に表示します。

ログに記録された送信した呼び出し（コール）の確認と再送信

送信された DSC ログを見直し、再送信することができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“TRANSMITTED” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、呼び出しを確認または再送信する相手局（名前または MMSI 番号）を選択します。
3. 選択した相手局の詳細を確認するには、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. [CALL] ソフトキーを押すと再送信します。[BACK] ソフトキーを押すとリスト画面に戻ります。



ログに保存されている受信した遭難通報の確認

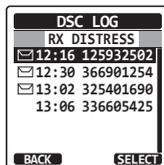
保存されている受信した遭難通報を確認することができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“RX DISTRESS”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。



2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、受信した遭難通報を再確認する相手（名前または MMSI 番号）を選択します。



注意：受信した未確認の遭難通報には、リストの左側に“☒”アイコンが表示されます。



3. 選択した遭難通報の詳細を確認するには、[SELECT]ソフトキーを押します。

4. [INFO]ソフトキーを押して詳細を表示するか、[BACK]ソフトキーを押して受信した遭難通報のリスト画面に戻ります。

ログに記録されている他の呼び出し（コール）の確認



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“RX OTHER CALL”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。



2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、呼び出しを再確認または呼び出しする相手（名前または MMSI 番号）を選択します。



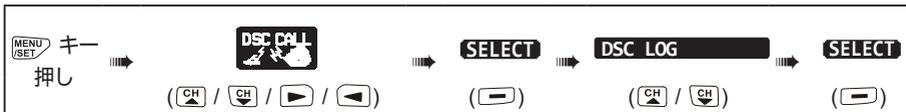
注意：受信した未確認の呼び出しには、リストの左側に“☒”アイコンが表示されます。



3. 選択した相手局の詳細を確認するには、[SELECT]ソフトキーを押します。

4. [REPLY]ソフトキーを押して呼び出しに応答するか、[BACK]ソフトキーを押して、受信した呼び出しリスト画面に戻ります。

DSC ログに保存されている呼び出し（コール）の一括削除



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、“LOG DELETE”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、一括で削除する呼び出しログの種類(“TRANSMITTED”、“RX DISTRESS”、“RX OTHER CALL”、“ALL LOG”)を選択します。
3. [SELECT]ソフトキーを押します。画面に確認のメッセージ“Do you want to delete the LOG?”が表示されます。
4. [YES]ソフトキーを押して削除します。(キャンセルする場合には[NO]ソフトキーを押します。)
5. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

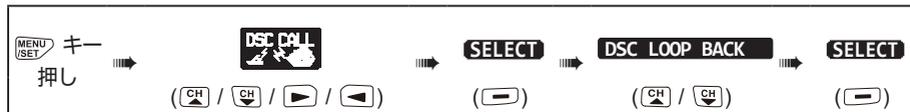


注意

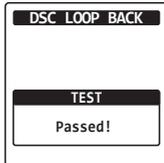
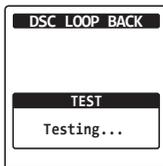
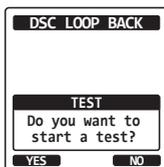
上記の手順では、選択した種類のすべてのログを一括して削除します。ログに記録された呼び出しを1件ずつ削除するには、削除する呼び出しの詳細を確認する画面で、[DELETE]ソフトキーを押します。

DSC ループバック操作

本機の呼び出し(コール)機能をセルフテストすることができます。



1. [YES]ソフトキーを押すとセルフテストが開始されます。(キャンセルするには[NO]ソフトキーを押します。)
本機のDSC機能が正常に動作している場合は画面に“Passed!”と表示されます。[OK]ソフトキーを押すと“DSC CALL”メニュー画面に戻ります。
2. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



ナビゲーション

ナビゲーションに使用できるウェイポイント（地点）を最大 250 箇所まで登録することができます。

遭難通報の位置や、自動ポジションポーリングを使用して他の DSC 対応トランシーバーから受信した地点へナビゲートすることもできます。

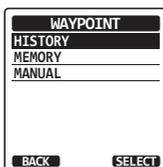
ウェイポイント操作

ナビゲーションの開始と停止

● ウェイポイントを使用したナビゲーション



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して“HISTORY”または“MEMORY”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、ウェイポイントを選択して[SELECT]ソフトキーを押すとナビゲーション画面に切り替わり、ウェイポイントへのナビゲーションが開始されます。
ウェイポイントへの距離と方位が表示され、コンパス内にはウェイポイントの方向が点(●)で表示されます。

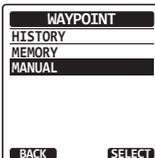


3. ナビゲーションを終了するには、いずれかのソフトキーを押してから、[STOP]ソフトキーを押して通常画面に切り替えます。

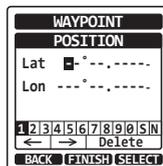
● ウェイポイントを手動で入力してナビゲーションする



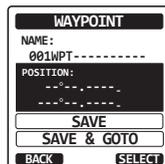
1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して“MANUAL”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。



2. ウェイポイントに名前をつける場合には、[CH▼]/[CH▲]キーを押して、“NAME”を選択して[SELECT]ソフトキーを押して名前を入力します。詳しくは“個別アドレス帳 (INDIVIDUAL DIRECTORY)” (90 ページ) を参照してください。



3. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、“POSITION”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。



4. [CH▼]/[CH▲]/[◀]/[▶]キーを押して緯度 (Lat) の最初の数字を選択し [SELECT] ソフトキーを押して次の桁に進みます。



5. 手順 4 を繰り返して、“緯度” (Lat) と “経度” (Lon) を入力します。
6. もし間違えて入力したときは、[CH▼]/[CH▲]/[◀]/[▶]キーを押して“←”または“→”を選択します。続けて [SELECT] ソフトキーを押して、間違えた数字を選択して手順 4 の操作で正しい数字を入力します。
7. 全て入力したら [FINISH] ソフトキーを押すと、設定を保存して前の画面に戻ります。
8. [CH▼]/[CH▲]キーを押して “SAVE & GOTO” を選択して [SELECT] ソフトキーを押すと、ウェイポイントを保存してナビゲーション画面が表示されナビゲーションを開始します。目的地への距離と方位が表示され、コンパス内にはウェイポイントの方向が点 (●) で表示されます。
9. ナビゲーションを終了するには、いずれかのソフトキーを押してから、[STOP] ソフトキーを押して通常画面に切り替えます。

ウェイポイントの操作

● 現在位置をウェイポイントとして保存する

自船の現在位置をウェイポイントとして保存できます。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“NAME”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、ウェイポイント名前を入力して[SELECT]ソフトキーを押します。
名前の入力が終わったら[FINISH]ソフトキーを押します。
3. もし表示された位置情報（緯度 / 経度）を変更したいときは、[CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“POSITION”を選択して[SELECT]ソフトキーを押して他後に変更します。
4. すべて入力が終わったら、[FINISH]ソフトキーを押して確定します。
5. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“SAVE”を選択して[SELECT]ソフトキーを押して、ウェイポイントを保存します。
6. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

MARK POSITION	
NAME:	001MARK-----
POSITION:	24°25.9755N 118°59.4566W
SAVE	
BACK	SELECT

MARK POSITION	
NAME:	001MARK-----
POSITION:	24°25.9755N 118°59.4566W
SAVE	
BACK	SELECT

● ウェイポイントを追加する



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“ADD”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“NAME”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、ウェイポイントの名前を入力して[SELECT]ソフトキーを押します。
名前の入力が終わったら[FINISH]ソフトキーを押します。
4. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“POSITION”を選択して[SELECT]ソフトキーを押して、位置情報（緯度 / 経度）を入力します。
すべて入力が終わったら、[FINISH]ソフトキーを押して確定します。
5. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“SAVE”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押してウェイポイントを保存します。
6. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

WAYPOINT SETUP	
WAYPOINT DIR.	
ADD	
EDIT	
DELETE	
BACK	SELECT

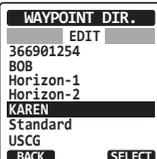
WAYPOINT DIR.	
NAME:	001WPT-----
POSITION:	----- ----- -----
SAVE	
BACK	SELECT

WAYPOINT DIR.	
NAME:	STANDARD-----
POSITION:	34°25.9755N 118°59.4566W
SAVE	
BACK	ENTER

● ウェイポイントの編集

登録されているウェイポイントを編集します。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“EDIT” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、編集するウェイポイントを選択して、[SELECT] ソフトキーを押すと編集画面が表示されます。
3. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“NAME” または “POSITION” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
4. [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーを押して、“←” または “→” を選択して変更する文字が選択されるまで、[SELECT] ソフトキーを押して文字を編集します。
5. 手順 3 と 4 を繰り返してウェイポイントを編集します。すべて編集が終わったら、[FINISH] ソフトキーを押します。
6. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“SAVE” を選択して [SELECT] ソフトキーを押して、ウェイポイントを保存します。
7. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

● ウェイポイントを削除する



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“DELETE”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して削除するウェイポイントを選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
3. 削除するウェイポイントを確認して、[CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“OK”を選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



● 受信した位置情報通知をウェイポイントとして保存する

他の DSC 対応トランシーバーからの位置情報通知を受信すると、その位置をウェイポイントとして保存できます。

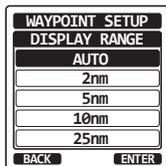
詳しくは“受信した位置情報の地点をウェイポイントとして保存する” (54 ページ) を参照してください。

表示半径の設定

コンパス画面の表示半径を設定できます。

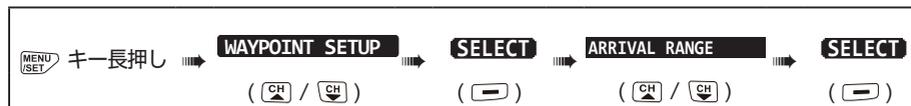


1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、希望する表示範囲を選択します。
単位は GPS 設定メニューで変更できます。詳しくは“表示単位 (UNITS OF MEASURE)” (96 ページ) を参照してください。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



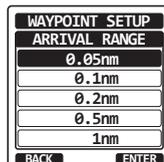
到着範囲の設定

ウェイポイントの到着範囲としてビーブ音を鳴らす距離を設定できます。



1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、希望する到着範囲を選択します。

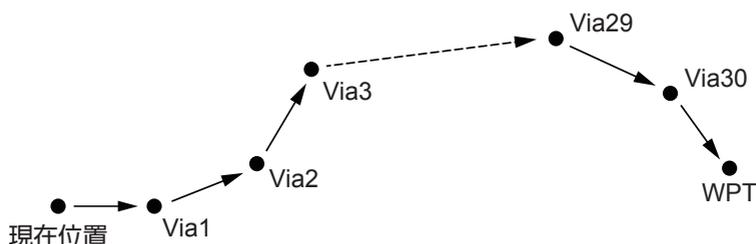
単位は GPS 設定メニューで変更できます。詳しくは“表示単位 (UNITS OF MEASURE)” (96 ページ) を参照してください。



2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

ルート設定の操作

ルートに沿って経由する 1 ~ 30 のウェイポイントを設定できます。



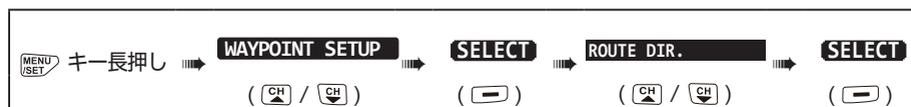
ウェイポイントへのルート

ルートメモリーの操作

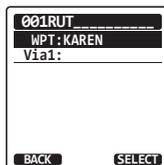
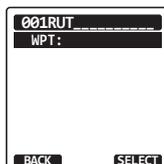
注意

すべての経由地点 (Via1 ~ Via30) と目的地点 (WPT) をウェイポイントとして登録する必要があります。詳しくは“ウェイポイントの操作” (63 ページ) を参照してください。

● ルートの追加



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “ADD” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “NAME” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してルートの名前を入力したら [SELECT] ソフトキーを押します。
名前が入力が終わったら [FINISH] ソフトキーを押します。
4. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “ROUTE” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
5. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “WPT:” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
6. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、目的地のウェイポイントを選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
7. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “Via1:” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
8. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、ウェイポイントを選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
9. 手順7と8を繰り返して、すべての経由地点を追加します。
10. [BACK] ソフトキーを押します。
11. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “SAVE” を選択して [SELECT] ソフトキーを押してルートを保存します。
12. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

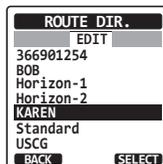


● ルートを編集する

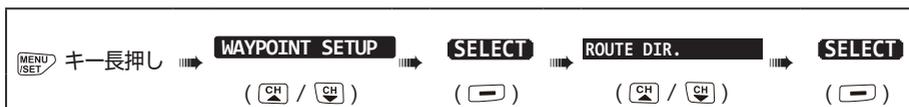
保存されているルートを編集します。



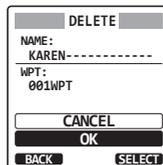
1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “EDIT” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して編集するルートを選択して、[SELECT] ソフトキーを押すと、ルート編集画面が表示されます。
3. 前のページの“ルートの追加”の手順2から手順10と同じ操作でルートを編集します。
4. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “SAVE” を選択して、[SELECT] ソフトキーを押して編集したルートを保存します。
5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



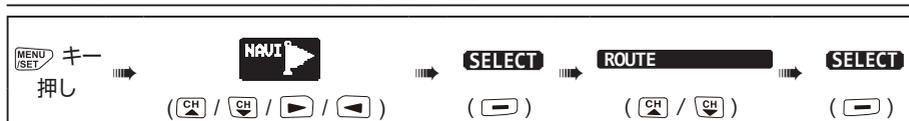
● ルートを削除する



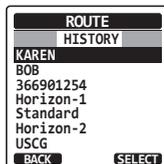
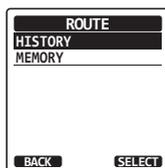
1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “DELETE” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、削除するルートを選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
3. 削除するルートを確認して、[CH ▼]/[CH ▲] キーを押して “OK” 選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



ルートナビゲーションの開始と停止



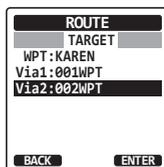
1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“HISTORY”または“MEMORY”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してルートを選択して、[SELECT]ソフトキーを押して、ルートナビゲーションを開始します。ナビゲーション画面の左上に“RTE”アイコンが表示されます。
3. 経由地点 (Via) に到達すると“ARRIVED” (到着) というメッセージが表示されます。
次の目的地へのナビゲーションを開始するには、[YES]ソフトキーを押します。



4. ルートナビゲーションを終了するには、[◀]/[▶] キーを押して、続けて[STOP]ソフトキーを押します。
5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

目的地の変更

1. ナビゲーション画面でいずれかのソフトキーを押して、[NEXT TG]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、次の目的地を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
3. 選択した目的地へのナビゲーションを開始します。

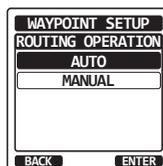


次の目的地点へナビゲーションを自動または手動で開始する

ウェイポイントに到着したときに、次の目的地点へのナビゲーションを自動で開始するか、または手動で開始するかを設定します。



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して“**AUTO**”または“**MANUAL**”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



GM (グループモニター) 機能

GM (グループモニター) 機能は、グループコールと自動位置ポジションポーリングと同じシステムを使用して、グループメンバーの位置を画面に表示します。

GM機能の設定

最大9人のグループメンバーを登録できるGMグループを、10グループまで保存できます。

GM グループメモリーの設定

- この機能を動作させるには、モニターするグループメンバーのすべてのトランシーバーに同じ“グループMMSI”を登録する必要があります。詳しくは“グループコールを設定する” (43ページ)を参照してください。
- GMのグループメンバーは個別アドレス帳から選択できます。モニターするすべてのメンバーを個別アドレス帳に保存しておく必要があります。詳しくは“個別アドレス帳の登録” (37ページ)を参照してください。



- [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“ADD”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
- [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“NAME”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押します。
- [CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶]キーと[SELECT]ソフトキーを押して、グループの名前を入力します。
名前の入力が終わったら[FINISH]ソフトキーを押します。
- [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して“GM ID”を選択して、[SELECT]ソフトキーを押して、GMグループMMSI番号を入力します。
MMSI番号の入力が終わったら[FINISH]ソフトキーを押します。



- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“MEMBERS”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

GM GROUP DIR.	
NAME:	STANDARD-----
GM ID:	087654321
MEMBERS	
SAVE	
BACK	SELECT

- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押してリストの番号を選択して、[SELECT] ソフトキーを押します。

GM GROUP DIR.	
STANDARD	
1:	
2:	
3:	
4:	
5:	
6:	
7:	
BACK	DELETE SELECT

- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して個別アドレス帳からメンバーを選択して [SELECT] ソフトキーを押します。

INDIVIDUAL DIR.	
YAESU	
KAREN	
BOB	
366901254	
Horizon-1	
Standard	
Horizon-2	
USCG	
BACK	DELETE SELECT

- 手順6と7を繰り返して、すべてのメンバーをGMグループに登録します。

GM GROUP DIR.	
STANDARD	
1:	
2:	
3:	KAREN
4:	
5:	
6:	
7:	
BACK	DELETE SELECT

- [BACK] ソフトキーを押すと、グループの名前とGM IDの設定画面に戻ります。

GM GROUP DIR.	
NAME:	STANDARD-----
GM ID:	087654321
MEMBERS	
SAVE	
BACK	SELECT

- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して“SAVE”を選択して、[SELECT] ソフトキーを押して設定を保存します。

- 他のGMグループに登録するには、手順5～10を繰り返します。

- [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

位置情報送信の時間間隔を設定



- [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して位置情報を送信する時間の間隔を選択して [ENTER] ソフトキーを押します。
- [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

GM SETUP	
INTERVAL	
1min	
3min	
5min	
10min	
15min	
BACK	ENTER

GM 動作中の送信動作の設定



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して希望の送信動作を選択して[ENTER]ソフトキーを押します。

OFF : GM機能が動作中の送信を無効にします。
ON GM : GM画面の表示中だけ、送信を有効にします。
ON ALL : GM機能が動作中の送信を有効にします。



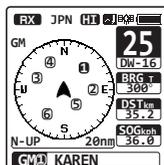
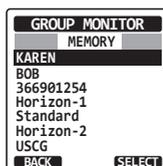
2. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

GM機能の開始



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、GMグループを選択して[ENTER]ソフトキーを押します。

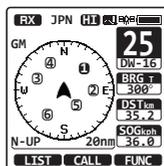
GM機能が開始され、GM画面が表示されます。



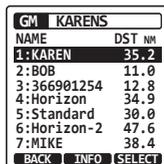
2. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

グループメンバーへ個別コールを送信する

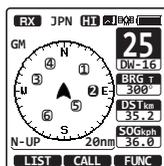
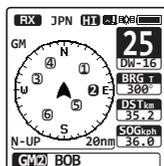
1. GM画面を表示中に、いずれかのソフトキーを押して、[LIST]ソフトキーを押します。



2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、呼び出すメンバーを選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。



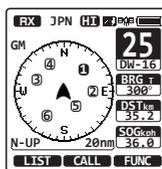
3. [◀]/[▶]キーを押し、続けて[CALL]ソフトキーを押すと、選択したメンバーに個別コールが送信されます。



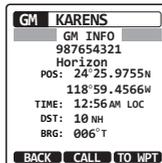
4. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、通信するチャンネルを選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。すべての音声チャンネルから選択するには、[MANUAL]ソフトキーを押してから選択します。
5. 個別コールを送信するには[YES]ソフトキーを押します。
6. 個別コールの確認応答を受信すると、上記の手順4で選択したチャンネルに自動的に変更されて、呼び出し音が鳴ります。
7. [QUIT]ソフトキーを押して、チャンネルが使用中でないことを確認してから、PTTスイッチを押しながらマイクに向かって話して、他の船舶と通信します。

グループメンバーへのナビゲーションを開始する

1. GM画面を表示中に、いずれかのソフトキーを押して、[LIST]ソフトキーを押します。
2. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、接近したいメンバーを選択し、[SELECT]ソフトキーを押します。
3. [TO WPT]ソフトキーを押すと、選択したメンバーへのナビゲーションが開始されます。
[BACK]ソフトキーを2回押すと、ナビゲーションを中止して、GM画面に戻ります。



GM KARENS	
NAME	DST NM
1: KAREN	35.2
2: BOB	11.0
3: 366901254	12.8
4: Horizon	34.9
5: Standard	30.0
6: Horizon-2	47.6
7: MIKE	38.4
[BACK] [INFO] [SELECT]	



設定メニュー (CONFIGURATION SETUP)

画面モード (DISPLAY MODE)

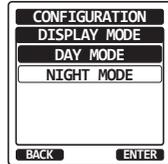
トランシーバーを操作する時間帯や周囲の明るさにあわせて、見やすい表示画面を選択します。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、画面モードを選択します。

DAY MODE : 通常表示 (工場出荷時設定)

NIGHT MODE : 夜間用の反転表示

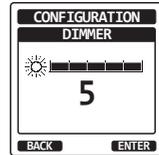


バックライト輝度調節 (DIMMER ADJUSTMENT)

画面とキーのバックライトの明るさを調節します。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、バックライトの明るさを調節します (工場出荷時設定は“5”です)。“OFF”を設定するとバックライトは消灯します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



バックライト点灯時間設定 (LAMP)

画面とキーのバックライトの点灯時間を設定します。

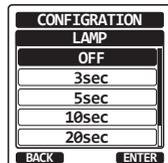


1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、バックライトの点灯時間を設定します (工場出荷時設定は“3sec(秒)”です)。

OFF : バックライトは点灯しません。

3/5/10/20/30sec : キー操作 (PTTスイッチを除く) を行ってから、設定した時間バックライトが点灯します。

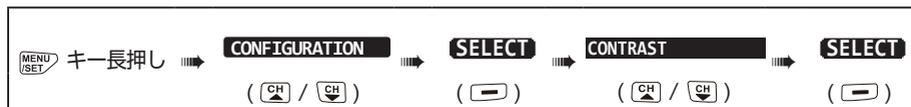
CONTINUOUS : バックライトは点灯し続けます。



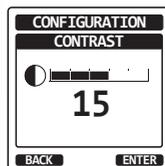
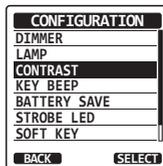
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

画面のコントラスト調整 (DISPLAY CONTRAST)

画面のコントラストを調節します。



1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、コントラストを“0”～“30”（工場出荷時は“15”）から選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

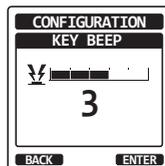


キー操作音量 (KEY BEEP)

キーを押したときのビープ音の音量を調節します。

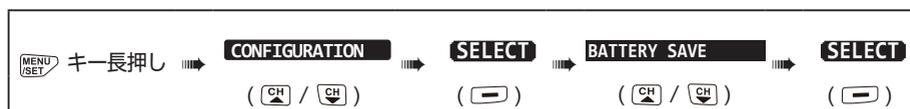


1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、ビープ音の音量を“1”～“5”または“OFF”（工場出荷時は“3”）から選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



バッテリーセーブ機能 (BATTERY SAVER)

受信待機時のバッテリーの消費を抑えるバッテリーセーブ機能の設定を変更します。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、バッテリーセーブ機能の設定を“OFF”、“50%”、“70%”、“80%”、“90%”から選択します。

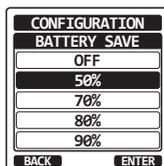
50% : 0.1秒オン、0.1秒オフ (工場出荷時の設定)

70% : 0.1秒オン、0.25秒オフ

80% : 0.1秒オン、0.45秒オフ

90% : 0.1秒オン、0.9秒オフ

2. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



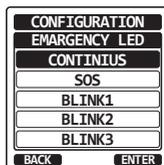
ストロボLEDランプ (STROBE LED)

ストロボ LED ランプの動作を設定します。

Emergency LED



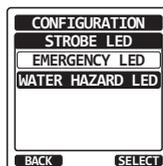
1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“EMERGENCY LED”を選択して[SELECT]ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、発光(点滅)パターンを“CONTINUOUS”(工場出荷時の設定)、“SOS”、“BLINK 1”、“BLINK 2”、“BLINK 3”から選択します。
3. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



Water Hazard LED



1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、“**WATER HAZARD LED**” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。

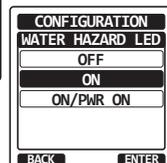


2. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、ストロボ LED ランプの動作を選択します。

OFF : LEDランプは点灯しません。

ON : LEDランプが点灯します (工場出荷時の設定)。

ON/PWR ON : LEDランプが点灯し HX890Jの電源がオンになります。

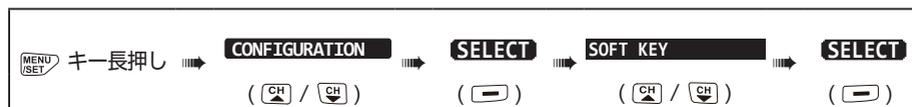


3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

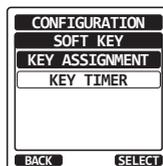
ソフトキー (SOFT KEYS)

ソフトキーに、よく使用する機能を割り当てることができます。

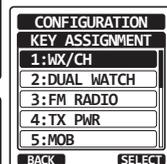
キー割り当て (Key Assignment)



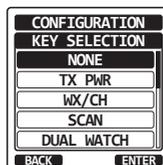
1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、“**KEY ASSIGNMENT**” を選択し、[SELECT] ソフトキーを押します。



2. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、設定するソフトキー番号を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。



3. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、下表から割り当てたい機能を選択して [ENTER] ソフトキーを押します。“**NONE**” を選択すると、機能の割り当てが削除されます。



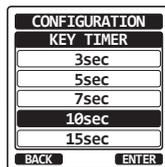
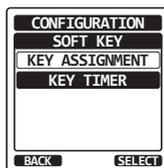
4. 手順 2 と 3 を繰り返して、他のソフトキーを設定します。
5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

表示	機能説明	ソフトキー番号 (工場出荷時設定)
NONE	機能割り当て無し	
TX PWR	送信出力切替	4
WX/CH	NOAA ウェザーチャンネルとマリーンチャンネル切替	1
SCAN	スキャンの開始 / 停止	7
TRIPLE WATCH	2 波同時受信または 3 波同時受信の開始 / 停止	2
WPT MARK	現在地を“ウェイポイント”として保存	12
COMPASS	コンパス画面を表示	
WAYPOINT	ナビゲーション画面を表示	8
MOB	落水者が発生した地点を“ウェイポイント”に設定	5
SCAN MEMORY	現在のチャンネルをスキャンメモリーに追加 / 削除	6
PRESET	プリセットチャンネルと通常モードの切換 現在のチャンネルをプリセットチャンネルに追加 / 削除	
STROBE	ストロボ LED ライトの ON/OFF	10
CH NAME	チャンネルの名前を編集	
LOGGER	位置データのログ機能の開始 / 停止	11
NOISE CANCEL	ノイズキャンセル機能の設定画面を表示	9
FM RADIO	FM ラジオの受信	3
BACKLIT	画面モード (DAY MODE と NIGHT MODE) の切替	

ソフトキーの表示時間 (Key Timer)



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“KEY TIMER” を選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、時間を選択します (工場出荷時は“10sec (秒)”に設定)。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

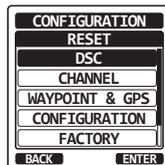


リセット操作 (RESET)

設定メニューの一部または全てをリセットしたり、本機を工場出荷時の設定に戻すことができます。



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、リセット操作の種類（“DSC”、“CHANNEL”、“WAYPOINT & GPS”、“CONFIGURATION”、“FACTORY”、“USER MMSI※”）を選択します。



※ MMSI 番号のリセットについては、次項の“**MMSI 番号をリセットする**”を参照してください。

- 個別アドレス帳と GPS ログも消去されますのでご注意ください。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
 3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

MMSI 番号をリセットする

HX890J に登録した MMSI 番号は、パスワードを入力してお客様ご自身でリセットすることができます。

●リセットパスワードの発行を依頼する

MMSI 番号のリセットに必要なパスワードについては、当社カスタマーサポートに依頼してください。

ご依頼の際には、下記の情報をお知らせください。

(1) **トランシーバーの型名 HX890J**

(2) **トランシーバーのシリアル番号** (SER NO. に続く英数字 8 桁)

(シリアル番号は無線機本体のラベルに記載されています。ラベルはバッテリーパックを取り外した本体背面に貼付されています。)

(3) **現在の MMSI 番号** (数字 9 桁)

(“**MMSI 番号の登録について**” (10 ページ) を参照して確認してください。)

(4) **リクエストコード** (英数字 14 桁)

(次ページの“**リクエストコードを確認する**”を参照してください。)

注意

上記の情報に間違いがあると、パスワードの発行ができない場合がありますので、内容をよくご確認の上ご連絡ください。

パスワードの発行についての連絡先

八重洲無線カスタマーサポート 電話番号 0570-088013

設定メニュー一覧

項目	機能説明	工場出荷時設定
DISPLAY MODE	画面表示の DAY（日中）モードと NIGHT（夜間）モードを切り替えます。	DAY MODE
DIMMER	LCD とキーのバックライトの明るさを調節します。	5
LAMP	画面とキーのバックライトの点灯時間の設定。	3 sec
CONTRAST	画面のコントラスト調整	15
KEY BEEP	キーを押したときのビーブ音の音量を調節します。	3
BATTERY SAVE	受信待機時のバッテリーの消費を抑えるバッテリーセーブ機能の設定。	50%
STROBE LED	EMERGENCY LED ランプの設定。	CONTINUOUS
	WATER HAZARD LED ランプの設定。	ON
SOFT KEY	ソフトキーの機能の割り当て。	—
	ソフトキーの機能を表示する時間の設定。	10 sec
RESET	メモリーや設定を初期化します。	—

チャンネル設定 (CHANNEL FUNCTION SETUP)

チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)

このメニュー項目では、本機のチャンネルグループを INTL (インターナショナル) / USA (アメリカ) / JPN (日本) から選択できます。

詳しくは“チャンネルグループ (CHANNEL GROUP)” (18 ページ) を参照してください。

ウェザーアラート (WEATHER ALERT)

NOAA (アメリカ海洋大気局) ウェザーチャンネルのウェザーアラート (気象警報) 受信機能のオン / オフを設定します。

参考: NOAA ウェザーチャンネルはアメリカで運用されているため、日本の周辺では受信できません。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



スキャンメモリー (SCAN MEMORY)

メモリースキャン時にスキャンするチャンネルを設定します。

詳しくは“スキャンメモリの設定” (22 ページ) を参照してください。

スキャンタイプ (SCAN TYPE)

メモリースキャンの動作を“MEMORY” (メモリースキャン) と“PRIORTY” (プライオリティスキャン) から選択します。

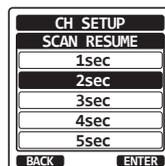
詳しくは“スキャンタイプの設定” (22 ページ) を参照してください。

スキャン再開時間 (SCAN RESUME)

スキャン中に一時停止中に受信していた信号が無くなってから、スキャンを再開する時間を設定します。工場出荷時設定は“2sec” (2 秒) です。



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、スキャン再開時間を“1sec (秒)”～“5sec (秒)”から選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



マルチワッチ (MULTI WATCH)

マルチワッチ機能の動作を“DUAL” (2 波受信) または“TRIPLE” (3 波受信) から選択します。

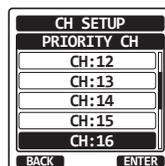
詳しくは“マルチワッチ機能の設定” (20 ページ) を参照してください。

プライオリティチャンネル (PRIORITY CHANNEL)

プライオリティスキャン時に、優先して受信するプライオリティチャンネル (優先チャンネル) を設定します。工場出荷時設定は、“チャンネル 16” です。



1. [CH▼]/[CH▲]キーを押して、プライオリティチャンネル (優先チャンネル) を選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。

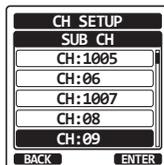


サブチャンネル (SUB CHANNEL)

サブチャンネルを設定します。工場出荷時設定は“チャンネル9”です。
サブチャンネルは [16/S] キーを長押ししてすぐに呼び出すことができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、サブチャンネルを選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



チャンネル名 (CHANNEL NAME)

通常画面でチャンネル番号の下に、表示される名前 (チャンネル名) を変更することができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、名前を変更するチャンネルを選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、名前の1文字目を選択します。
3. [SELECT] ソフトキーを押すと文字が確定され、次の桁に進みます。



4. 手順2と3を繰り返して、最大15文字の名前を入力します。
間違えて入力した場合は、[CH ▼]/[CH ▲]/[◀]/[▶] キーで“←”または“→”を選択して、間違えた文字が選択されるまで [SELECT] ソフトキーを押して、手順2と3で正しい文字を入力します。
5. 名前の入力完了したら、[FINISH] ソフトキーを押して設定を保存します。
6. 他のチャンネルに名前を付けるには、手順1から5を繰り返します。
7. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

参考

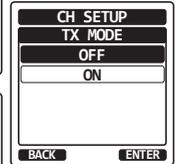
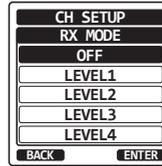
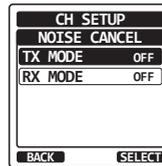
ソフトキーに“**CHANNEL NAME**”が割り当てられているときは、[**NAME**]ソフトキーを押して、現在のチャンネルの名前を変更することができます。

ノイズキャンセル (NOISE CANCELLATION)

送信と受信のノイズキャンセリング機能のオン/オフをそれぞれ設定します。



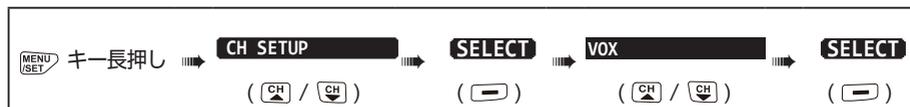
1. [**CH ▼**]/[**CH ▲**]キーを押して、“**TX MODE**”を選択し[**SELECT**]ソフトキーを押します。
2. [**CH ▼**]/[**CH ▲**]キーを押して、送信のノイズキャンセル機能の“**ON**”または“**OFF**”を選択して[**ENTER**]ソフトキーを押します。
3. [**CH ▼**]/[**CH ▲**]キーを押して、“**RX MODE**”を選択し[**SELECT**]ソフトキーを押します。
4. [**CH ▼**]/[**CH ▲**]キーを押して、受信のノイズキャンセル機能のレベルを“**LEVEL 1**”～“**LEVEL 4**”または“**OFF**”を選択して[**ENTER**]ソフトキーを押します。
5. [**CLR**]キーを押して、通常画面に戻ります。



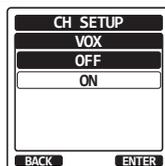
VOX機能 (VOX OPERATION)

音声による送受信切替を行う、VOX 機能のオン / オフを設定します。

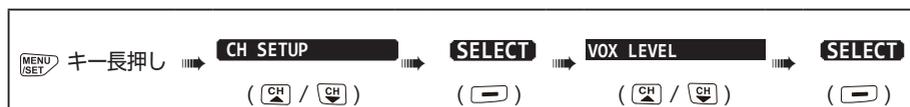
VOX 機能のオン / オフ (VOX)



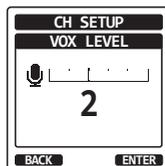
1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、VOX 機能の“ON”または“OFF”を選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



VOX 感度の設定 (VOX LEVEL)



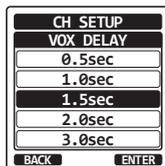
1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、VOX 機能のレベル(感度)を“0”～“4”から選択します(工場出荷時の設定は“2”です)。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



VOX ディレイタイムの設定 (VOX DELAY)



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、受信に戻るまでの時間を“0.5sec”、“1.0sec”、“1.5sec”、“2.0sec”、“3.0sec”から選択します(工場出荷時の設定は“1.5sec (秒)”です)。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



受信音の音質調整 (AF PITCH OPERATION)

周囲の騒音が多い環境でも、受信音を聞き取りやすい音質に調節できます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、聞き取りやすい音質になるように選択します。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



チャンネル機能設定一覧

項目	機能説明	工場出荷時設定
CH GROUP	チャンネルグループを選択します。	JPN
WX ALERT	ウェザーアラート機能のオン/オフを設定します。	OFF
SCAN MEMORY	スキャンメモリーのチャンネルを追加/削除します。	—
SCAN TYPE	スキャンタイプを選択します。	PRIORITY
SCAN RESUME	スキャン再開時間を設定します。	2sec
MULTI WATCH	マルチワッチ時の DUAL (2波) 受信または TRIPLE (3波) 受信を選択します。	DUAL
PRIORITY CH	Priority Channe (優先チャンネル) を設定します。	CH16
SUB CH	Sub Channe (サブチャンネル) を設定します。	CH09
CH NAME	チャンネルの名前を編集します。	—
NOISE CANCEL	ノイズキャンセリング機能のオン/オフを設定します。(送信/受信それぞれで設定できます。)	OFF
VOX	音声による送受信切替を行う、VOX 機能のオン/オフ設定	OFF
VOX LEVEL	VOX 機能の感度を設定します。	2
VOX DELAY	VOX 機能時の受信に戻るまでの時間を設定します。	1.5sec (秒)
AF PITCH	オーディオフィルターを設定します。	Normal

DSC機能設定 (DSC SETUP)

個別アドレス帳 (INDIVIDUAL DIRECTORY)

HX890JにはDSCアドレス帳があり、個別コール、位置情報要求、およびレポート送信の位置を指定して、連絡する船舶または個人の名前と関連するMMSI番号を保存することができます。個別コールを送信するには、携帯電話の電話帳のように、連絡先の船の情報を個別アドレス帳に登録します。

詳しくは“個別アドレス帳の登録” (37 ページ) を参照してください。

個別コール返答 (INDIVIDUAL REPLY)

トランシーバーのチャンネルを音声通信用チャンネルに切り替えるように要求する個別コールに、“AUTO”、または“MANUAL” (工場出荷時設定) で返答するかを設定します。“MANUAL” に設定している場合は、呼び出してきた船舶のMMSI番号が表示されて、誰が呼び出しているかを確認することができます。

詳しくは“個別コール返答の設定” (38 ページ) “を参照してください。

個別コール返答内容 (INDIVIDUAL ACKNOWLEDGMENT)

個別コール返答の設定が“AUTO” に設定されている場合の自動確認応答を“ABLE” (工場出荷時設定) または“UNABLE” で返答するかを設定できます。

詳しくは“個別コールの確認応答内容の設定” (39 ページ) を参照してください。

個別コールベル音 (INDIVIDUAL RINGER)

個別コールを受信したことを知らせるベル音が鳴る時間を設定します。2分 (工場出荷時設定)、5秒、10秒、15秒から選択変更できます。

詳しくは“個別コールのベル音を設定する” (42 ページ) を参照してください。

グループメモリー (GROUP DIRECTORY)

この機能を使用する船舶グループ内のすべてのDSC対応のトランシーバーに、同じグループMMSI番号を登録する必要があります。

詳しくは“グループコールを設定する” (43 ページ) を参照してください。

位置情報要求への応答 (POSITION REPLY)

他の船舶から位置情報要求を受信したときに、“AUTO”（自動、工場出荷時設定）または“MANUAL”（手動）で自船の位置情報を送信するように設定できます。

自船の位置情報を自動で知らせたくないときには、“MANUAL”（手動）に設定すると、画面に位置情報を要求してきた相手の MMSI 番号または個人名が表示され、要求している船舶に位置情報を送信するかどうかを選択することができます。

詳しくは“位置情報要求への応答の設定”（51 ページ）を参照してください。

自動ポジションポーリング (AUTO POS POLLING)

個別アドレス帳に登録された船舶から、最大 7 隻まで指定して自動で位置情報を要求または通知することができます。

詳しくは“自動ポジションポーリング”（55 ページ）を参照してください。

自動位置情報要求間隔 (AUTO POS INTERVAL)

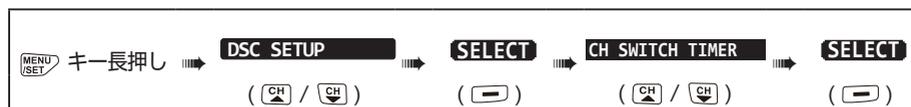
自動で位置情報を要求または通知するポーリングの送信間隔を設定します。

詳しくは“自動ポジションポーリング送信間隔の設定”（55 ページ）を参照してください。

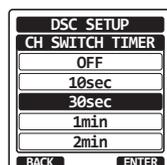
自動チャンネル変更 (CHANNEL SWITCH TIMER)

遭難通報または全船コール（緊急または安全）を受信したときに、自動でチャンネル 16 に切り替える時間を設定します。

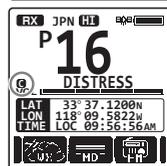
工場出荷時設定は“30sec（秒）”です。



1. [CH▼]/[CH▲] キーを押して、自動切り替え時間を選択して、[ENTER] ソフトキーを押します。
2. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



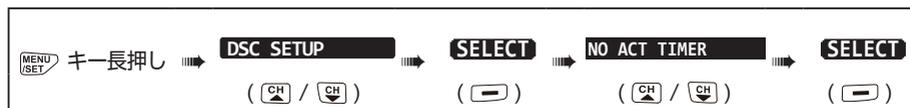
“OFF” に設定すると自動でチャンネルの変更は行なわず、画面の上部に“”アイコンが表示されます。



無操作タイムアウト時間 (NO ACT(ACTION)TIMER)

“MENU”画面または“DSC CALL”画面でなにも操作をしないときに自動で通常画面に戻るまでの時間を設定します。

工場出荷時設定は“15min” (15分) です。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して時間を選択して、[ENTER]ソフトキーを押します。
2. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



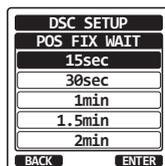
WAIT TIME FOR POSITION FIX

遭難通報または位置情報通知、位置情報要求の確認応答を受信したときに、位置情報を取得するまでの待ち時間を設定します。

工場出荷時設定は“15sec (秒)”です。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して時間を選択して、[ENTER]ソフトキーを押します。
2. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



DSCビーブ音 (DSC BEEP)

各種の呼び出し (コール) を受信したときに鳴るビーブ音をオンまたはオフに設定します。

個別コール、グループコール、全船コール、位置要求コール、自動位置送信コール、エリアコール、ポーリングコール、DSC テストコールについて、それぞれ設定できます。

DSC設定メニュー一覧

項目	機能説明	工場出荷時設定
INDIVIDUAL DIR.	個別アドレス帳を入力または編集します。	－
INDIVIDUAL REPLY	個別コールへの自動応答を設定します。	MANUAL
INDIVIDUAL ACK	個別コールの確認応答の自動送信の有効または無効を設定します。	ENABLE
INDIVIDUAL RING	個別コールまたは位置情報要求を受信したときのベル音の鳴る時間を設定します。	2 min (分)
POSITION REPLY	位置情報要求コールを受信したときの応答の自動または手動を設定します。	AUTO
GROUP DIR.	グループメモリーを入力または編集します。	－
AUTO POS POLLING	自動ポジションポーリングの機能を要求または通知から選択します。	AUTO POS REQUEST
AUTO POS TIME	自動ポジションポーリングの送信間隔を選択します。	30 sec (秒)
CH SWITCH TIMER	遭難通報または全船コール、グループコールを受信した後、指定されたチャンネルに自動的に移動する遅延時間を設定します。	30 sec (秒)
NO ACT (ACTION) TIMER	操作していないときに自動で通常画面に戻るまでの時間を設定します。	15 min (分)
POS FIX WAIT	遭難通報、位置情報通報、または位置情報要求への応答を受信したときに、位置情報を取得するための最大待機時間を設定します。	15 sec (秒)
DSC BEEP	DSC コールを受信したときに鳴るビーブ音のオンまたはオフを設定します。	INDIVIDUAL:ON GROUP:ON ALL SHIPS:ON POS REQUEST:OFF POS REPORT: ON GEOGRAPHIC: ON POLLING: OFF TEST: OFF

GPS設定 (GPS SETUP)

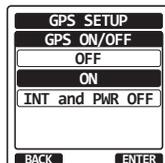
GPS機能のオン/オフ (GPS ON/OFF)

内蔵 GPS ユニットの動作をオン / オフすることができます。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“OFF”、“ON”、“INT and PWR OFF” を選択します。

OFF : GPS機能はオフになります。
ON : GPS機能はオンになります。
INT and PWR OFF : 無線機の電源がオフでもGPS機能はオンになります。



2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

“INT and PWR OFF” に設定すると、無線機の電源をオフにしても内蔵のGPSユニットが動作しているため、バッテリーを消費します。

“INT and PWR OFF” が設定された状態で無線機の電源をオフにした時は、付属の充電用クレードルで充電してください。

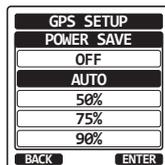
GPSバッテリーセーブ機能 (POWER SAVE)

GPS 機能使用時のバッテリーの消費を抑えるバッテリーセーブ機能の設定を変更します。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、バッテリーセーブ機能の設定を選択します

OFF: バッテリーセーブ機能は動作しません。
AUTO: GPS信号を受信したときだけ、GPSユニットを動作させます。
50%: 3秒毎に3秒間GPSユニットを動作させます。
75%: 9秒毎に3秒間GPSユニットを動作させます。
90%: 27秒毎に3秒間GPSユニットを動作させます。

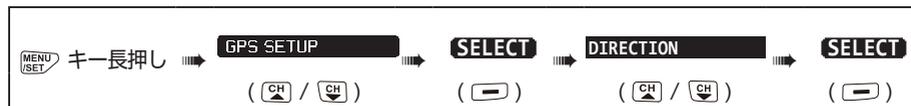


2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

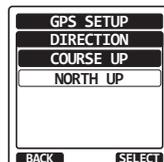
コンパス表示方向 (DIRECTION)

コンパス表示の方向を“COURSE UP”（進行方向が上）または“NORTH UP”（北が上）から選択できます。

工場出荷時設定は“COURSE UP”（進行方向が上）です。



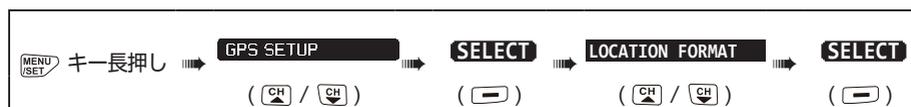
1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、“COURSE UP”または“NORTH UP”を選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



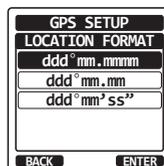
位置座標 (緯度・経度) の形式 (LOCATION FORMAT)

画面に表示される位置座標の形式を選択します。

工場出荷時設定は“ddd° mm.mmmmm”です。



1. [CH ▼]/[CH ▲]キーを押して、位置座標の形式を“ddd° mm.mmmmm”、“ddd° mm.mm”、“ddd° mm' ss”から選択します。
2. [ENTER]ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR]キーを押して、通常画面に戻ります。



時刻のオフセット (TIME OFFSET)

画面に表示される現地時刻とUTC（世界協定時刻）とのオフセットを設定します。オフセットは、GPS 機器から受信した時刻に対して、加算または減算されます。

詳しくは“時刻オフセットの変更”（12ページ）を参照してください。

表示時刻 (TIME AREA)

画面に表示する時刻をUTC（協定世界時）時間または現地時間から選択します。

詳しくは“タイムエリアの変更”（12ページ）を参照してください。

時刻表示形式 (TIME FORMAT)

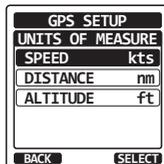
画面に表示する時刻を 12 時間形式または 24 時間形式から選択します。
詳しくは“時刻表示形式の変更” (13 ページ) を参照してください。

表示単位 (UNITS OF MEASURE)

速度、距離、高度を表示する単位を設定します。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、設定する項目を選択します。
2. [SELECT] ソフトキーを押します。
3. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、単位を選択します。
4. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



ピンニング (PINNING)

船舶が航行していない場合に、位置情報の更新を行うかどうかを設定します。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します (工場出荷時の設定は “ON” です)。

ON : 船舶が10フィート以上移動しない限り、位置情報を更新しません。これにより停船時の位置情報のふらつきを防ぎます。

OFF : 船舶が航行中または停止している場合でも、その位置情報を継続的に更新します。

2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

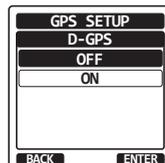


SBAS (Satellite Based Augmentation System)

SBAS の動作をオン / オフすることができます。



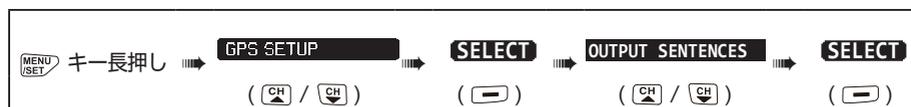
1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します (工場出荷時の設定は “ON” です)。
2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



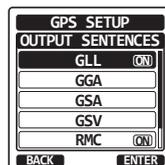
出力センテンス (OUTPUT SENTENCES)

NMEA で出力するセンテンスを設定します。

工場出荷時設定はすべての NMEA センテンスの出力が “OFF” です。



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、設定するセンテンスを選択して [SELECT] ソフトキーを押します。
2. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“ON” または “OFF” を選択します。
3. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
4. 手順 1 から 3 を繰り返して、他のセンテンスを設定します。
5. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



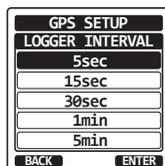
ロガー記録時間間隔 (LOGGER INTERVAL)



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、記録時間の間隔を選択します。

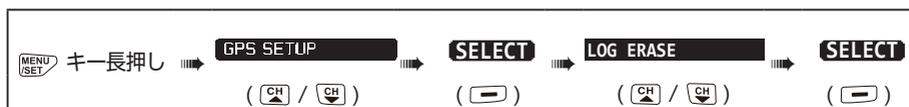
参考：ログ記録時間間隔と記録できる時間の目安

- 5 sec : 約8時間
- 15 sec : 約25時間
- 30 sec : 約50時間
- 1 min : 約100時間 (工場出荷時の設定)
- 5 min : 約500時間



2. [ENTER] ソフトキーを押して、設定を保存します。
3. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。

ログ消去 (LOG ERASE)



1. [CH ▼]/[CH ▲] キーを押して、“CANCEL” (消去の中止) または “OK” (消去) を選択して [ENTER] ソフトキーを押します。
2. [CLR] キーを押して、通常画面に戻ります。



GPS設定の一覧

項目	機能説明	工場出荷時設定
GPS ON/OFF	内蔵 GPS ユニットの動作をオン / オフします。	ON
POWER SAVE	GPS 機能使用時のバッテリーの消費を抑えるバッテリーセーブ機能を設定します。	AUTO
DIRECTION	コンパス表示の方向を選択します。	COURSE UP
LOCATION FORMAT	表示する位置情報（緯度・経度）の形式を選択します。	ddd° mm.mmmmm
TIME OFFSET	UTC からのオフセット時間を設定します（“TIME AREA” を “LOCAL” に設定したときに有効になります）。	00:00
TIME AREA	表示する時間を UTC または現地時間から選択します。	UTC
TIME FORMAT	表示する時刻の形式を 12 時間または 24 時間（“TIME AREA” で “UTC” を選択した場合は「24H」に固定）を選択します。	24hour（時間）
UNITS OF MEASURE	速度、距離、高度を表示するときの計測単位を選択します。	SPEED: kts DISTANCE: nm ALTITUDE: ft
PINNING	船舶が航行していないときに、GPS 位置情報を更新するかどうかを設定します。	ON
D-GPS	SBAS のオン / オフ	ON
OUTPUT SENTENCES	INMEA で出力するセンテンスを設定します。	OFF
LOGGER INTERVAL	GPS ロガーの記録時間間隔を設定します。	1 min（分）
LOG ERASE	GPS ロガーの保存データを消去します。	—

国際VHFチャンネル表

チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考	チャンネル	送信周波数 (MHz)	受信周波数 (MHz)	備考
01	156.050	160.650		60	156.025	160.625	
02	156.100	160.700		61	156.075	160.675	
03	156.150	160.750		62	156.125	160.725	
04	156.200	160.800		63	156.175	160.775	
05	156.250	160.850		64	156.225	160.825	
06	156.300	156.300	すべての船舶相互間用	65	156.275	160.875	
07	156.350	160.950		66	156.325	160.925	
08	156.400	156.400	すべての船舶相互間用	67	156.375	156.375	
09	156.450	156.450	遭難・緊急・安全一般呼出用*	68	156.425	156.425	
10	156.500	156.500	すべての船舶相互間用	69	156.475	156.475	小型船舶間同士用
11	156.550	156.550	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	70	156.525	-	DSC専用
12	156.600	156.600	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	71	156.575	156.575	所属海岸局用
13	156.650	156.650	船舶相互間・海上保安庁海岸局	72	156.625	156.625	小型船舶間同士用
14	156.700	156.700	海上保安庁海岸局・ボートラジオ用	73	156.675	156.675	小型船舶間同士用
15	156.750	156.750		74	156.725	156.725	所属海岸局用
16	156.800	156.800	遭難・緊急・安全一般呼出用*	75	156.775	156.775	
17	156.850	156.850		76	156.825	156.825	
18	156.900	161.500		77	156.875	156.875	小型船舶同士・所属海岸局との呼出・応答用
19	156.950	161.550		78	156.925	161.525	
20	157.000	161.600		79	156.975	161.575	所属海岸局用
21	157.050	161.650		80	157.025	161.625	
22	157.100	161.700		81	157.075	161.675	
23	157.150	161.750		82	157.125	161.725	
24	157.200	161.800		83	157.175	161.775	
25	157.250	161.850		84	157.225	161.825	
26	157.300	161.900		85	157.275	161.875	
27	157.350	161.950		86	157.325	161.925	
28	157.400	162.000		87	157.375	157.375	
				88	157.425	157.425	

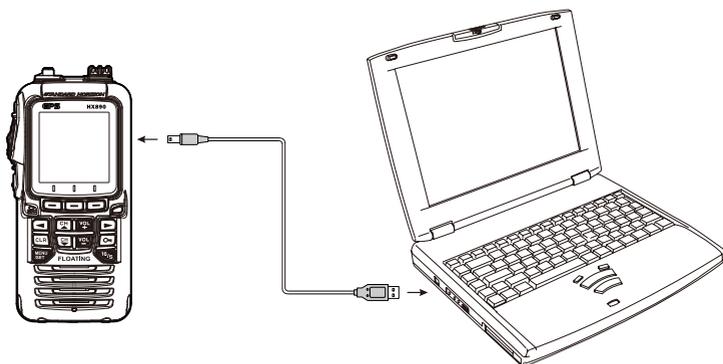
※ チャンネル 09 はチャンネル CH16 が使用中の場合に使用します。

免許状に記されたチャンネルで運用してください。

パソコンとの接続

プログラミングソフトウェア(当社ウェブサイトからダウンロードできます)を使用して、Windows パソコンで HX890J に記録されている位置情報のログデータをダウンロードできます。

パソコンとの接続は、HX890J 側面のデータ端子のカバーを開いて、付属の USB ケーブルでパソコンの USB 端子と接続します。



注意

データ端子のカバーが開いているときは、防水性能が保たれません。
トランシーバーとパソコンを接続するときは、周囲が乾燥している状態
でご使用ください。

定格

● 一般定格

周波数範囲：	156.025MHz ~ 162.000MHz (詳しくは国際 VHF チャンネル表を参照)
周波数ステップ：	25kHz
周波数安定度：	± 3ppm (− 20°C ~ +60°C)
電波型式：	音声：F3E、DSC：F2B
アンテナインピーダンス：	50 Ω
電源電圧：	DC 7.4V、マイナス接地
消費電流：	380mA (受信時) 130mA (受信無信号時、GPS オン) 110mA (受信無信号時、GPS オフ) 1.6A/1.0A/0.7A (送信 5W/2W/1W)
使用温度範囲：	− 20°C ~ +60°C
DSC フォーマット：	ITU-R M.493-14
本体寸法 (幅×高さ×奥行)：	66mm × 138mm × 38mm (突起物を除く)
本体重量：	約 310g (SBR-13LI、ハンドストラップ、ベルトクリップ、アンテナを含む)

● 送信部

送信出力 (@7.4V)：	5W (HIGH) / 2W (MEDIUM) / 1W (LOW)
変調方式：	バリエابل・リアクタンス変調
最大周波数偏移：	± 5kHz
不要輻射強度：	0.25 μ W 以下
マイクロホンインピーダンス：	2k Ω

● 受信部

受信方式：	ダブルコンバージョン・スーパーヘテロダイン
受信感度：	0.25 μ V (12dB SINAD)
選択度：	12kHz / 25kHz (− 6dB / − 60dB)
隣接チャンネル選択度：	約 70dB
相互変調：	約 70dB
S/N 比：	約 45dB
低周波出力：	700mW @16 Ω 10% THD (電源電圧 7.4V、内部スピーカー使用時)

● FM ラジオ放送受信部

周波数範囲：	65MHz ~ 108MHz
周波数ステップ：	100kHz
受信感度：	1.0 μ V (12dB SINAD)

STANDARD HORIZON

Nothing takes to water like Standard Horizon

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

1908B-AC-3
Printed in China

